

令和 8 年度 国補 軽井沢オーブンドアスクール
改修工事

軽井沢町

図面リスト

[illegible]

特記仕様書

工事概要書

工事名称

令和8年度 国補 軽井沢オーブンドアスクール 改修工事

工事場所

〒386-0103
北佐久郡軽井沢町軽井沢1323-43
鉄筋コンクリート造2階建て

建物構造

改修

建築面積

延床面積

工事種別

建物用途

敷地面積

学校

工事関係提出書類一覧表

名称	提出物名	該当区分	部数	摘要	
■工事施工関係書類	目次	■	1		
	工事実績情報登録報告	■	1	監督職員に提出した書類の写し	
	実施工程表	■	1		
	依頼人通知書	■	1	監督職員に提出した書類の写し	
	総合施工計画書	■	1		
	工程別台帳(写し)	■	1		
	施工体制台帳(写し)	■	1		
	廃棄物等処理計画書	□	1		
	再生資源利用【促進】計画書	□	1		
	使用材料発注記録書	■	1		
	材料及び機器の品質・性能証明書	■	1		
	■工事完成資料	目次	■	1	
		製作図	■	1	
		工事施工・変更協議書	■	1	
工事打合簿		■	1		
工事記録(月報)		■	1		
材料及び機器の試験・検査成績書		■	1	着工日から竣工日まで	
施工試験・検査成績書		■	1		
社内の試験・検査成績書		■	1	各種試験成績・総合調整	
廃棄物等処理報告書		□	1	各種試験成績・総合調整	
再生資源利用【促進】実施書		□	1	建設副産物・産業廃棄物	
納品書(写し)		■	1		
工事写真		■	1		
完成写真		■	2	キャビネットにて、外部3箇所、内部各室2箇所程度 建築写真専門家による撮影とする。	
■保守管理資料		目次	■	1	
	納入品目録	■	2	1部は工具箱及び備え先	
	保証書	■	1		
	機器完成図	■	1	製造者作成	
	施工図(電気・機械)	■	1		
■官公署届出書類等	目次	■	1		
	官公署届出書類等	□	1	法定点検が必要なもの別冊	
	官公署検査結果通知書等	□	1	法定点検が必要なもの別冊	
	■完成図	目次	■	1	
		原図	■	1	A2三つ折りケース入り
製本(陽画)		■	1	A2青焼二つ折り製本	
CADデータ等		■	1	CADデータ	
施工図(建築)		□	1		
■設計図	目次	□	1		
	原図	□	1		
	CADデータ等	□	1	CADデータ	
	製本(現場打合せ用)	■	2	A2青焼二つ折製本(着工前提出)	
	■本工事の施工に伴う提出図書及び提出部数は2部とし、協議の上決定する。 ■鍵はキーボックス(杉田エヌ・エス・キョウKXD-20WG(シリンダ・錠)同等品)にて提出する。 ■建設リサイクル法届出				

章

特記事項

1 一般共通事項

■本工事とは、本図面・仕様書並びに現場説明事項に基づき施工する事とし、詳細については「国土交通省大臣官房官庁営繕部(最新版)」
1. 公共建築工事標準仕様書(建築工事編、機械設備工事編、電気設備工事編)
2. 公共建築改修工事標準仕様書
3. 公共建築設備工事標準図、電気設備基準、内線規定、消防関係法規、N.T.T基準、空調調和衛生学会標準仕様書
により入念に施工する。
■本工事施工に当っては「建築施工管理技士」「管工事施工管理技士」「電気工事施工管理士」「電気工事士」等有資格者の施工管理とし、工事着工前に施工図面、製作図面、機器類図面、工程表、使用機材メーカーリスト及びサンプル類等を提出し、係員の承認を得るものとする。
■工事中は、係員の指示する箇所及び隠ぺい部分の施工方法等を、カラー写真にて記録撮影し、説明書を含め、工事写真帳に作成の上提出する。
更に工事完成時には各工事毎に、竣工図面、試験データ、機器類仕様書並びに取扱い説明書、アフターサービス連絡先リスト、保障証及び工事完成引渡し証を作成し製本のうえ提出する。

■本工事における関係官公庁等への申請手続及び届出は、本工事請負者においてこれを代行し費用一切も本工事を含むものとする。
■図中に記載無くも、本工事の完成に当然必要と思われる事項については、係員の指示に従い速かにこれを処理し、関連する他工事の工程に支障無き様充分留意する。尚これらに要する軽微な費用の増減は、原則として行わないものとする。
また設計図書に差異等を生じた場合は、係員の指示による他、優先順位は次の通りとする。
1. 質疑応答書
2. 現場説明書
3. 特記仕様書
4. 設計図
5. 標準仕様書
■発生材の処理は、産業廃棄物処理法による適正処理とする。(マニフェストA表、B2表、D表、E表の写し及び許可証の写し提出)
■特記仕様書の適用方法：特記仕様書は■印のついたものを摘要する。
■項目に○印がある項目を適用する。
■■印を適用する。

■建設地内の土中より産業廃棄物等が確認された際は、速やかに発注者に報告し、協議の上、適切に処分する事とする。

章

項目

2 仮設工事

①監督員詰所
②現場事務所
③工事用水
④工事用電力
⑤仮設電話等
⑥仮囲い設置

■要(程度) ■不要
■要(20m程度) ■不要
構内既存の施設：■利用できる (■有償 □無償) □利用できない
構内既存の施設：■利用できる (■有償 □無償) □利用できない
口要(電話及びFAX) ■不要
■要 □不要 ■指示による
範囲：□敷地廻り：単管シート貼り(H=2.0m、L=100m)
範囲：□上記以外の部分：H= m、L= m
構造：□単管組 □木製 □(キヤリ-ゲート)W=3.0m×H=1.8m、2箇所
高さ：□1.5m □1.8m □3.0m □その他()
仕上：■仕上なし □ペイント仕上 □その他()
■本工事現場に掲示する看板は、大きさ、書体、仕上げ、取り付け位置などあらかじめ監督員と協議する。
■工事前撤去、移設を要する軽微なものは、本工事の範囲とする。
■標準G.L.の決定及びB.M.の設置は、監督員の立ち会いのもとに行う。
■本工事の施工に当たり、付近住民、隣接建物、工作物、通行人に対し損害を与えないように、必要な保護設備を計画し、監督員及び各関係の承認を得て実施する。万一損害を与えた時は、速やかに対応手当、復旧工事をし、これに要した費用は請負業者の負担とする。
■工事完了後、建物引き渡し前に全体の清掃を行い、工事による損傷部は完全に復旧する。
■室内空気中化学物質測定(ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、ステレン、パラジクロロベンゼンの6成分)をパッシブ法により、2箇所実施する。

3 土工

①根切
②埋戻し盛土
③地均し整地
④残土処分

■工事着手前に根切方法、山留工法、排水工法、使用機器などを記した施工計画図を提出し、監督員の承認を受けるものとする。
口特殊工法：
埋戻し：□A種 ■B種 □C種 □D種
盛土：()
口地均し後、真砂土を厚さ cm程度に敷均し □構内指示の場所に堆積
■構外撤出適切処理 □構内指示の場所に敷均し □構内指示の場所に堆積
口構外撤出指定処理(場所：)

4 地業工事

1 地耐力試験
2 既製コンクリート杭地業

■不要 □要 ヶ所 長期支持力 (t/m²)
杭の種類 □遠心力鉄筋コンクリート杭 □高強度プレストレストコンクリート杭 □

規格、材質など JIS規格品 ※1種 JIS規格品 □A種 □B種 □C種
※2種 評価品

長さ(mm)
外径(mm)
長期設計支持力(t/本)
先端部形状 □ペンシル □フラット(□開放型 □半開放型 □閉そく形)
継手の箇所数 箇所

3 鋼杭地業

杭の種類

□鋼管杭 □H形鋼杭

規格、材質など JIS規格品 SS400 SS490 JISによる □SH400 □SH400M □SH490M □SH490M

長さ(mm)
外径(mm)
長期設計支持力(t/本)
先端部形状 □開放形 □
補強方法 □図4.3.1及び表4.3.1 □
現場継手の形状 JIS A5625 □

4 工法

口打込み工法
施工法 □打撃工法
□フレポーリング併用打撃工法
フレポーリング掘削深さ 杭長さー m
フレポーリング掘削径 (W= t)
□ディーゼルバイルハンマー (W= t)
□油圧バイルハンマー (W= t)
□セメントミルク工法

施工法 打込み杭工法
施工法 □認定埋込み杭工法 ()
材料その他 鉄筋種別
鉄筋の太さ 厚さ □100mm □
コンクリートの強度上の水セメント比 □A種 □B種
口掘削工法：杭の側壁測定装置 □適用する □適用しない
口底底杭工法
支持力の算定方法 □建設省告示第111号による。
位置(図示) 長さ(m) 外径(mm) フレポーリング掘削深さ(m) 備考
本 杭長さー
本 杭長さー
本 杭長さー
本 杭長さー

5 場所打ちコンクリート杭地業

鉄筋種別
鉄筋の太さ 厚さ □100mm □
コンクリートの強度上の水セメント比 □A種 □B種
口掘削工法：杭の側壁測定装置 □適用する □適用しない
口底底杭工法
支持力の算定方法 □建設省告示第111号による。
位置(図示) 長さ(m) 外径(mm) フレポーリング掘削深さ(m) 備考
本 杭長さー
本 杭長さー
本 杭長さー
本 杭長さー

6 試験杭

口行わない □行う(□鉛直載荷試験 □水平載荷試験)
試験方法 □「敷地調査共通仕様書」(官庁営繕部監修)による。 □
厚さ □60mm □150mm
厚さ □60mm ■50mm
■適用する(範囲は図面による) □適用しない
■地盤改良(図示による)

施工法 ■置換工法(スーパージオ工法)
口表層地盤改良(バケット混合攪拌工法)
口柱状改良
口砕石置換工法
口ラッブルコンクリート工法

7 杭の載荷試験

8 砂利地業
9 捨コンクリート地業
10 床下防湿層
11 地盤改良

口行わない □行う(□鉛直載荷試験 □水平載荷試験)
試験方法 □「敷地調査共通仕様書」(官庁営繕部監修)による。 □
厚さ □60mm □150mm
厚さ □60mm ■50mm
■適用する(範囲は図面による) □適用しない
■地盤改良(図示による)

施工法 ■置換工法(スーパージオ工法)
口表層地盤改良(バケット混合攪拌工法)
口柱状改良
口砕石置換工法
口ラッブルコンクリート工法

5 鉄筋工事(構造図による)

①一般事項

■鉄筋工事の仕様は、構造設計図による。
■鉄筋の継手及び補強筋等については、共通仕様書の他に、構造設計図書記載の基準詳細図等を優先とする。
■鉄筋の加工、組立に際しては、あらかじめ鉄筋加工図を作成し、監督員の承認を受ける。
■JIS規格証(ミルシート)、メタルタッグ、納品書、出荷伝票等を監督員に提出し承認を得る事。
■異形鉄筋：□SD295A □SD295B □SD345 □SD390 □
注)異形鉄筋はJIS規格品とし、径及び使用箇所については、構造設計図による。
P.C.鋼棒せん断補強筋：□SDPD1275/1420(JIS規格適合品) □
注)径及び使用箇所については、構造設計図による。
口JIS規格品 □
口重ね継手 □ガス圧接(mm)以上 □その他()
仕様資格：(社)日本圧接協会：□1種 □2種 □3種
資格確認： □不要 □要()
検査方法： □不要 □要(□引張試験 □超音波探傷試験)
採取後の処理：□圧接 □重ね継手

2 鉄筋の種類

溶接金網
鉄筋の継手
圧接工

圧接完了後の検査

耐久上不利な箇所などの鉄筋のかぶり厚

耐久上不利なヶ所() □

8 梁貫通孔
その他

■鉄筋工事の仕様は、構造設計図による。
口既製品使用(評価品) 径： mm
口その他 径： mm

6 コンクリート工事(構造図による)

①一般事項

口21N/㎡(210kg/㎡) □24N/㎡(240kg/㎡) □構造図による
口N/㎡(kg/㎡)
注)適用箇所については、構造設計による。
口要() □不要
種別 □I類 □II類 □

口普通ポルトランドセメント □混合セメント □早強ポルトランドセメント
細骨材の塩分含有量
口塩分含有量0.04% /wt
口塩分含有量0.10% /wt
(0.10% /wt)以下の場合は、水セメント比 55 (/wt)以下としA.E減水剤を使用)
砂砂、砕石の種類
口A(アルカリシリカ反応性試験結果が無害と判定されたもの) □B
口200kg/㎡以下 ※180kg/㎡以下
塩化物量(C.L.重量)
口0.30 (kg/㎡)以下
細骨材の最大寸法(捨てコンクリート及び防水押さえコンクリートの場合)
口25mm □ mm
下表以外は監督員の指示による。

種類	設計基準強度(N/㎡)	摘要箇所
口普通コンクリート	口18N/㎡(180kg/㎡) 口18N/㎡(180kg/㎡)	捨てコンクリート 口土間 口大走り
口軽量コンクリート	□	

口せき板の材料

材料	厚さ	塗装	材質
合板	■12mm □	■なし □あり	■南洋材 □針葉材 □複合合板
金属			

合板せき板を用いる場合

種別	施工箇所
口A種	
■B種	■防水立上り部
口C種	
■建築合板	■基礎、外構工作物見附部

注)上記以外の型枠については、設計図書による。
製縫剤：■使用しない □使用する
存置期間：■建設省告示第110号による。 □()
コンクリート試験
■採取した試験体は工事現場等、請負業者の直接管理下にある場所に保管する。
■コンクリートの圧縮強度試験は、公的試験所(これに準ずる試験所を含む)に於て行うことを原則とする。
■コンクリート打込に先立って、設計、施工条件を十分考慮し、適切な施工計画を作成し、監督員の承認を受けるものとする。

7 鉄骨工事(構造図による)

1 一般事項

口使用範囲及び区分は、構造詳細図による。
口鉄骨の継手、仕口及び補強部分その他については、共通仕様書の他に構造設計図記載の、基準詳細図等を優先する。
口工作図または、原寸図(型枠及び定規を含む)を作成し、監督員の検査を受ける。
口JIS規格証(ミルシート)、納品書、出荷伝票等を監督員に提出し承認を得ること。
口告示1103号に基づく大臣認定を受けた鉄骨製作工場で、下記に示すグレード以上とする。
(社)全国鉄構工業連合会 □Hグレード □Mグレード □Rグレード
(社)鉄骨建設業協会 □S類 □A類 □B類 □C類
口監督員の承諾する製作工場
型鋼・鋼板：□SS400 □SM400A □SM400B □SM490A □
軽量型鋼：□SS400 □
鋼管：□STK400 □
角形鋼管：□STKR400 □
高力ボルト：ボルトの種類 □特殊高力ボルト(トルシヤ形高力ボルト)
口JISの高力ボルト
口F10T □
口普通ボルト：SS400程度とし、等級は中ボルト程度とする。
ターンバックル：鋼の種類 □割棒式 □パイプ式
ボルトの種類 □羽子板ボルト □両ネジボルト □アイボルト
口溶接材料：JISZ3211規格品に適合するもの。
防錆塗装：下地調整の程度 □第一種クレン(プラスト法)
□第二種クレン(機械的作業)
□第三種クレン(手工具作業)

口錆止塗装は仕上塗装種別に応じた同系錆止塗料とし、塗装回数は、工場1回、現場1回、但し組立後塗装不可能な部分は、工場2回とし、
試験の種類：口超音波探傷試験 □X線検査 □その他()
注)試験箇所及び試験数については、監督員の指示による。
注)試験は原則として試験工場に所属しない検査機関による。

4 溶接部の試験

施工箇所	種別	所要性能	備考
屋根(母屋まで)		口30分耐火	ロックウール吹き付け
梁柱		口1時間耐火	
		口2時間耐火	
		口3時間耐火	

5 耐火被覆

8 押出・成形・A形・C形・パネル・板工事

1 コンクリートブロックの種類

コンクリートブロックの種類は下表による。

ブロック名称	摘要箇所	種別
口空洞コンクリートブロック	間仕切壁	C種・防水
口化繊コンクリートブロック	塀	圧縮強度による 区分 120
口型枠コンクリートブロック	塀の控壁・外壁	

鉄筋の種類 □A類 □B類
形状・寸法：■外壁 100mm・○○○mm (kg/㎡用) 小口タイル貼り対応
口床版 mm (kg/㎡用)
口間仕切壁 mm (kg/㎡用)
口屋根板 mm (kg/㎡用)
外壁パネルの取付け工法 種別 □A種 ※B種 □C種 □D種
出隅隅部の目地幅 □シ-リング材(共仕9.4.1条)
パネル相互の接合部 □A種 ※B種 □C種 □D種
外壁パネルの取付け工法 種別 □A種 ※B種 □C種 □D種
形状・寸法：口外壁 20mm (kg/㎡用) 1時間耐火対応
口間仕切 mm (kg/㎡用)

2 ALC版

口床版 mm (kg/㎡用)
口間仕切壁 mm (kg/㎡用)
口屋根板 mm (kg/㎡用)
外壁パネルの取付け工法 種別 □A種 ※B種 □C種 □D種
形状・寸法：口外壁 20mm (kg/㎡用) 1時間耐火対応
口間仕切 mm (kg/㎡用)

3 押出し成形中空セメント板

口既製品使用(評価品) 径： mm
口その他 径： mm

9 防水工事

①一般事項

■本工事は、すべて責任施工とする。

種別	施工箇所
種別	施工箇所
・A-1	
・B-1	
・D-1	
・E-1	
・A-S-1	

アスファルトの種類 JIS K2207規格品 □4種
押さえ金物(口アルミ製L-30×15×2.0)
・ 断熱材 □A種押出法ポリスチレンフォーム3種b
厚さ(mm) ・25 ・30 ・50
・ 脱気装置(材質、数量、)
・ 溶接金網(規格、数量、)
適用防水種別(・)
・ 伸縮調整目地(※成形伸縮目地)
製造所()

種別	厚さ(mm)	施工箇所	保護塗料(露出)
・S-F1	□1.2 □		口カラー・シルバー
・S-F2	□2.0 □		口カラー・シルバー
・S-M1	□1.5 □		
・S-M2	□1.5 □		口カラー・ダークグレー
・S-M3	□1.2 □		

・ 脱気装置(材質：ステンレス製又はアルミ製、設置数量：)
■被覆体との組み合わせは(標準表9.7.1)による。
アスファルト防水、改質アスファルトシート防水及び合成高分子系ルーフィングシート防水の保証期間は、引渡し日より10年間とし施工業者との連盟の上、保証書を出す。
塗膜防水については、メーカー・防水業者が通常定めている期間とし、作成し提出する。

施工箇所	種別
■隣壁外部立上り面	口ビット内、床、壁 口消火水槽内
	浸透性防水布

4 塗膜防水

種別	施工箇所	保護塗料(露出)
・ウレタン系	□X-1 □X-2	・カラー・シルバー ・カラー・シルバー
・ゴムアスファルト系	□Y-1 □Y-2	・カラー・シルバー

5 シーリング

6 防水保証

7 その他塗布防水

10 石工事

1 一般事項

仕上面の材質は、サンプルにより指定する。
口つなぎ金物のだば、かすがい、引き金物類は、黄銅又はステンレス(SUS304)製とする。
口仕上の種類は次の記号を用いる。
A=本磨き B=水磨き C=粗磨き D=小叩き E=ひき肌
F=ビシャン叩き G=割肌 H=ジェットバーナー I=プラスト
口品質は一等品とする

施工箇所	材質・産地	厚さ	仕上	備考
	御影石	30	C・H	

2 石の種類

11 タイル工事

1 タイルの種類

■設計図書による。
役物使用箇所
内装 ■出隅 ■入隅 ■天端 □巾木
外装 □使用する(外壁の出隅) □使用しない

口タイル見本供 □行わない □行う
口伸縮調整目地の位置 □図面による □
壁タイル張り工法

タイルの種類	タイルの寸法	工法	種類	厚さ(mm)	備考
■内装タイル	50～300	口横ひき張り	モルタル	10～20	ユニットごとに張り
		■壁タイル接着剤張り	モルタル	有機質接着剤	2～3
口外装タイル	小口タイル以上二丁掛以下	口壁タイル接着剤張り	モルタル	5～8	1枚ずつ張り付ける
		口改修接着剤張り	同上	4～7	同上
口内装タイル以外のユニットタイル	25mmを越え小口タイル未満25mm以下	口改修接着剤張り	同上	下地厚4～6mm、厚3～4	同上
		マスキ張り	同上	3～4	ユニットごとに張り付ける
ユニットタイル	モザイクタイル張り	同上	3～5	同上	

■打診検査及び接着剤試験 ■行う □行わない

2 工法

3 検査

軽井沢町

R.De.Co 良建築設計事務所

〒385-0022 長野県佐久市大字岩村田1291-1番地
TEL:0267-66-3580 FAX:0267-66-3581
一級建築士事務所登録 長野県知事登録 佐久E第72051号

DRAWN BY 一級建築士 大臣 第318665号 新津輝秋 印

DRAWN BY

CHECKED BY

工事名称 令和8年度 国補 軽井沢オーブンドアスクール 改修工事

図面名称 特記仕様書(1)

SCALE S=

SHEET No. D-02

⑫

木工事

①

木 材

含水率

構造材、下地材

■ A種 □ B種 □

構造図による

造作材

■ A種 □ B種

材質・等級

部 位	樹 種	特 記
土 合	□檜 ■注入材 □	米ツガ材 (120×120)
軸 組 材	□檜 □米松 ■集成材	レッドウッド材 (E95-F315)
床 組 材	□松 ■米松 □	米松材 (KD)
小屋組材	□松 ■米松 □	製材 (KD)
造 作 材	■檜 □米松 □杉 □桐	
下 地 材	■松 □杉 ■米松	

②

木材の断面寸法

■見掛り材は仕上寸法、見隠れ材はひき立て寸法とする。

③

表面仕上げ

仕上の程度 ■A種 □B種 □C種

④

化粧ばり造作材集成材

等級 □1等 □2等

化粧単板の樹種及び厚さ ・ 樹種 唐松、赤松

⑤

造作用集成材

等級 ■1等 □2等

単材の樹種及び厚さ ※ 樹種 □米松、□松 □唐松 □赤松 □

施 工 箇 所	樹 種	厚 さ (mm)
カウンター板類	松材	図面による。

⑥

防 腐 処 理

処理 ■する JIS K2439によるクレオソート油2回塗りとする。 □しない

施 工 箇 所	樹 種	厚 さ (mm)
屋根板金下地・外壁 G L+1.0mの範囲		

⑦

防 蟻 処 理

処理 ■する (社)日本白蟻対策協会)認定品とする。 □しない

⑧

ラ ウ ン 材

ラウン「製材の日本農林規格」の防虫処理剤の規格品 □使用する

⑨

デ ッ キ 材

■セラガンパツ材 □ひば材 □イベ □レッドシダー

⑬

屋根及び樋工事

1

長尺垂鉛めっき銅板葺

□形式

□瓦棟葺 □平葺 □横葺 □縦ハゼ葺

□溶融亜鉛亜鉛めっき銅板 □溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板

□溶融亜鉛めっき銅板 □カラーガルバリウム鋼板</

15	左官工事	①	モルタル塗り	■接着剤、防水剤、混和剤については、監督員と協議のうえ使用するものとする。
		②	A L Cパネル用	種別 □ A種 □ B種
		③	特殊アスター塗り	A L Cパネル外壁壁目地部の形状 タイル下地 塗面下地
		④	下地処理	
		⑤	仕上塗材仕上げ	薄付け仕上塗材 (JIS A6909の規格品)
		⑥		
		⑦		
		⑧		
		⑨		
		⑩		
16	建具工事	①	アルミニウム製建具	種別
		②	網戸	使用方法による区分
		③	鋼製建具	気密性による種類
		④	ステンレス製建具	鋼板材種別
		⑤	自動扉	駆動方式
		⑥	重量シャッター	強度による種類
		⑦	軽量シャッター	機能による種類
		⑧	木製建具	建具の種類
		⑨	建具金物	材質
		⑩	ガラス	ガラス取り付け材料

① 塗装工事

① 黒地 ごしええ
② 錆止塗料の種類

3 防 火 材 料
4 合成樹脂エマルジョン塗料
5 マスチック塗料塗り

⑥ その他の塗料塗り

■黒地調整及び塗料工程は、共通仕様書による。
■鉄面（２回塗り）

塗 料		施 工 箇 所
□鉛丹及び止めベント	(JIS K5622)	
□亜酸化鉛及び止めベント	(JIS K5623)	
□塩基性クロム酸鉛及び止めベント	(JIS K5624)	
□シアノミド鉛及び止めベント	(JIS K5625)	
□鉛丹ジクロメート及び止めベント	(JIS K5628)	鋼製建具
□ロー用及び止めベント	1種 (JIS K5621)	屋 内 □☆☆☆☆
□亜鉛めっき面		
塗 料		施 工 箇 所
□鉛酸カルシウム及び止めベント (JIS K5629)		
□屋内の壁及び天井の塗装仕上は、防火材料として基材同等の認定のあるものとする。 □浴室、脱衣室、便所、洗面所、湯沸室等の天井は2種（外用用）を用いる。		
仕上 種別		□A種 □B種 □C種
凸面処理	□なし □あり	□なし □あり
仕上材塗り	□	□アクリル樹脂エナメル塗料塗り □有光沢合成樹脂エマルジョン塗料塗り
塗 料		施 工 箇 所
■ 図示による（☆☆☆☆）		■外部 ■内部

② 内装工事

① ビニル床シート
ビニル床タイル

2 合成樹脂塗料床

材 種

種 別

厚さ (mm)

工 法

備 考

■ビニル床シート

■発泡層のないもの

■ 2.0

□突付け

■熱溶接

■無地 ■模様

□ 2.5

□突付け

□熱溶接

□無地 □模様

□ 3.5

□突付け

□熱溶接

■ビニル床シート

■発泡層のあるもの

■ 2.0

□突付け

■熱溶接

□塩化ビニルタイル

□半硬質 □軟質

※ 2.0

□ 7.0

■誘導（10線）・注意喚起（32点）タイル

□ビニル床タイル

※半硬質 □軟質

※ 2.0

材 料

厚さ (mm)

表 面 仕 上

施 工 箇 所

■ポリウレタン

■2 □ 0.25

■平滑仕上

□防汚仕上

■調湿等

□エポキシ樹脂

□2

□平滑仕上

□防汚仕上

③ 内装工事

③ 石こうボード及びその他ボード張り

石こうボード（※JIS規格品とする）

種 別		厚さ (mm)
□下張り	■突付け	■9.5 ■12.5 □15.0
壁	■上張り	■突付けV目地 □突付け □目直し
	■直張り	■突付けV目地 □突付け □目直し
天 井	□下張り	□突付け
	□上張り	□突付け □目直し
	■直張り	■突付けV目地 □突付け □目直し

吸音板（JIS規格品とする）

材 種	表面形状	厚さ (mm)
■吸音吸穴あき石こうボード		■9.5 □12.5
□石綿付1級カルシウム板		□5 □8 □10 □12
□ロックウール化粧吸音板	□トラバーチン模様	□9 □12 □15
	□立体模様	□12 □15 □19 □

4 フローリング張り

単層フローリング

種 別	樹 種	寸 法	工 法	塗 装
□天然木フローリング	□なら	厚15 巾64～75	□くぎ置工法	□ウレタン樹脂ワニス
□フローリングブロック	□なら	厚15 303×303	□モルタル埋込工法	□ウレタン樹脂ワニス

複合フローリング

種 別	樹 種	板 厚	下 張り	工 法
□天然木フローリング	□なら	□9 □13 □15	□有 □無	
□フローリングボード	□	□12 □15		

⑤ 壁 装 材

6 畳 敷 き

7 カーペット敷き

⑧ 断 熱 ・ 防 露

防火性能の等級

□不燃 ■準不燃

種類

□木質（級）

□ポリスチレンフォームサンドイッチ畳（B種）

材 種	工 法	下 地
□OIC	□全面接着工法	□フェルト10mm □
■図示による		
材 種	規 格	厚さ (mm)
■グラスウール断熱材	密度□16・■24kg/m ³	■75 ■110
■硬質ウレタンフォーム保温材吹き付け	保温厚1種2号	□15 □20 □30
■硬質ウレタンフォーム保温材吹き付け	保温厚2号	■15 ■20 ■30（自己清化機能）

⑨ 雑工事

1 ピクトサイン

2 室名札

3 書き文字

4 階数表示板

5 総合案内板

6 各階案内板

7 銘名板

⑧ 郵便受け

⑨ 消火器

11 シフトキャッチ

14 ミニキッチン

15 ホワイトボード

16 掲示板

17 ヘルメット掛け

⑩ 駐車場看板

⑪ 注意・誘導タイル

⑫ 屋外掲示板

□アクリルボード 150×150 UV印刷（杉田エス：R-4タイプ）ライノレック7種同等品）

□平方：（ ） □突出：（ ）

□タモ継付合板 600×300 文字入れ（杉田エス：FW-200R同等品）

□平付け：（ ） □突出：（ ）

□カッティングシート文字 30×30（黒色）

□扉面：（ ）

□SUS、H.Lシルク印刷文字（ ）

□タモ継付合板 600×900 3色（杉田エス：木枠フレームタイプ）レイトW-9060同等品）

□平付け：（ ）

□タモ継付合板 450×600 3色（杉田エス：木枠フレームタイプ）レイトW-9060同等品）

□平付け：（ ）

□SUS切り文字（浮かし付タイプ）

・SUS切り文字 80×3（ ） ・SUS切り文字 150×3（ ）

■PANASONIC：K777F1同等

■10型4台 ■消火器ボックス屋外対応扉付 神栄・メグロ SK-FE92-09等※1台

■TOTO：PYS1400同等品

■サンダー・リジッドPLAT同等品 センターキャブアライメントⅡ列型 扉が「ゲルマニウム151」でレン

流し台側：775D1型 L=290、調理台側：1型 L=1,690（浅型食洗機付）

IH・ガス・IH-K83TF5、レンジフード NBH-7157WH、オーブン・コンロ等品）

家電収納：760×650×2,350、カップボード：600×450×2,350

□ 温水器付ハーフトップミニキッチン（コンロなし） W=1,050

吊戸棚 1,050×700×375（リッカルド・タイプ EHPN-H12V1-JG同等品）

□ ミニキッチン（コンロなし） W=900

■厨房調理室：アルミ枠ローバー H=900、H=600

□木枠フレーム、シンナ合板 t=4.0 下地、提示看板 H=900

・老健館下・通所介護玄関ホール2箇所・各階E.Vホール

■樹脂製ヘルメットハンガー：2箇掛け付 3台

■タリシテ製コーンハットタイプ、コーン共（杉田エス：コーンハット同等品）

■メタリテ製25点 t=10（杉田エス：エスエフ・ロー同等品）

■ブロンズ色アルミ製（杉田エス：メタリテ-SHL-18-10）同等品）

排水工事

①排水管

材種

■破管強化ビニール管 ヴＵ 100φ・125φ・150φ

■排水用破管強化ビニール継手

□

種 類

□既製コンクリート

■現場打コンクリート

■増設製

寸 法

□

□コンクリート (Fe18-15)

■

図示による

■図示による

■図示による

②排水ます

種 類

□既製コンクリート

□鋼製グレーチング

■現場グレーチング

□ステンレスグレーチング

形 状 及 び 寸 法

□

□鋼鉄

□ダクタイル

□

図示による

■図示による

■図示による

■図示による

③排水ます蓋及び清蓋

種 類

□既製コンクリート

□鋼製グレーチング

■現場グレーチング

□ステンレスグレーチング

形 状 及 び 寸 法

□

□鋼鉄

□ダクタイル

□

図示による

■図示による

■図示による

■図示による

舗装工事

①路床材料

遮断層 ■川砂、海砂又は良質な山砂
凍上抑制層 □砂 □火山灰、火山れき □切込み砂利
盛土材料 □

②路盤材料

■クラッシュランC-40又はクラッシュランスラグCS-40

③アスファルト舗装

加熱アスファルト混合物
表層 ■密粒度アスファルトコンクリート
基層 ■粗粒度アスファルトコンクリート

④コンクリート舗装

溶接金網 □網目150mm鉄線6mm □ D13、ﾀﾞｲﾔﾐﾝｸﾞ@200、ｼﾝｸﾞﾙ
目地材 □注目目地材 □図示

⑤特殊舗装

種 別

□カラー舗装

□コンクリート平板舗装

□インターロッキング舗装

□緑石

■ゴムチップ舗装

形 状 及 び 工 法

3色混合程度 t=10 (耐凍害性)

⑥緑石及び側溝

種 類

□既製U字溝

□既製U字フリューム溝

□既製L字溝

■既製緑石

□現場打コンクリート

□既製排水機能付コンクリートブロック

形 状 及 び 寸 法

標準タイプ W=180、ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞｸﾞﾚｰﾅﾝｸﾞ (細目タイプT=14、 W=180)

地先境界ブロック 120、歩車道境界ブロック 150

コンクリート (Fe18N/mm²)

W=450ﾀﾞｲﾔﾐﾝｸﾞ

植栽工事

①補償期間

■新植、移植及び芝張りの枯損処置を行う対象期間は、引渡し日より ■1年 □年

②植込み用土

□現場発生地の良質土 ■客土

③支柱・添木丸太

□三脚 □四脚 □鳥居形 □布掛け ■八掛支柱 (杉丸太)

④防蝕剤塗り

□焼き丸太

⑤芝

種別 □こらうい芝 □野芝 □

⑥施肥

■施肥 (1本当たり)

	高さ1m未満	高さ3m未満	高さ3m以上
パーク堆肥	3.5kg	7.5kg	15.0kg
油かす	0.2kg	0.4kg	0.8kg

⑦樹木

■図示による。

その他

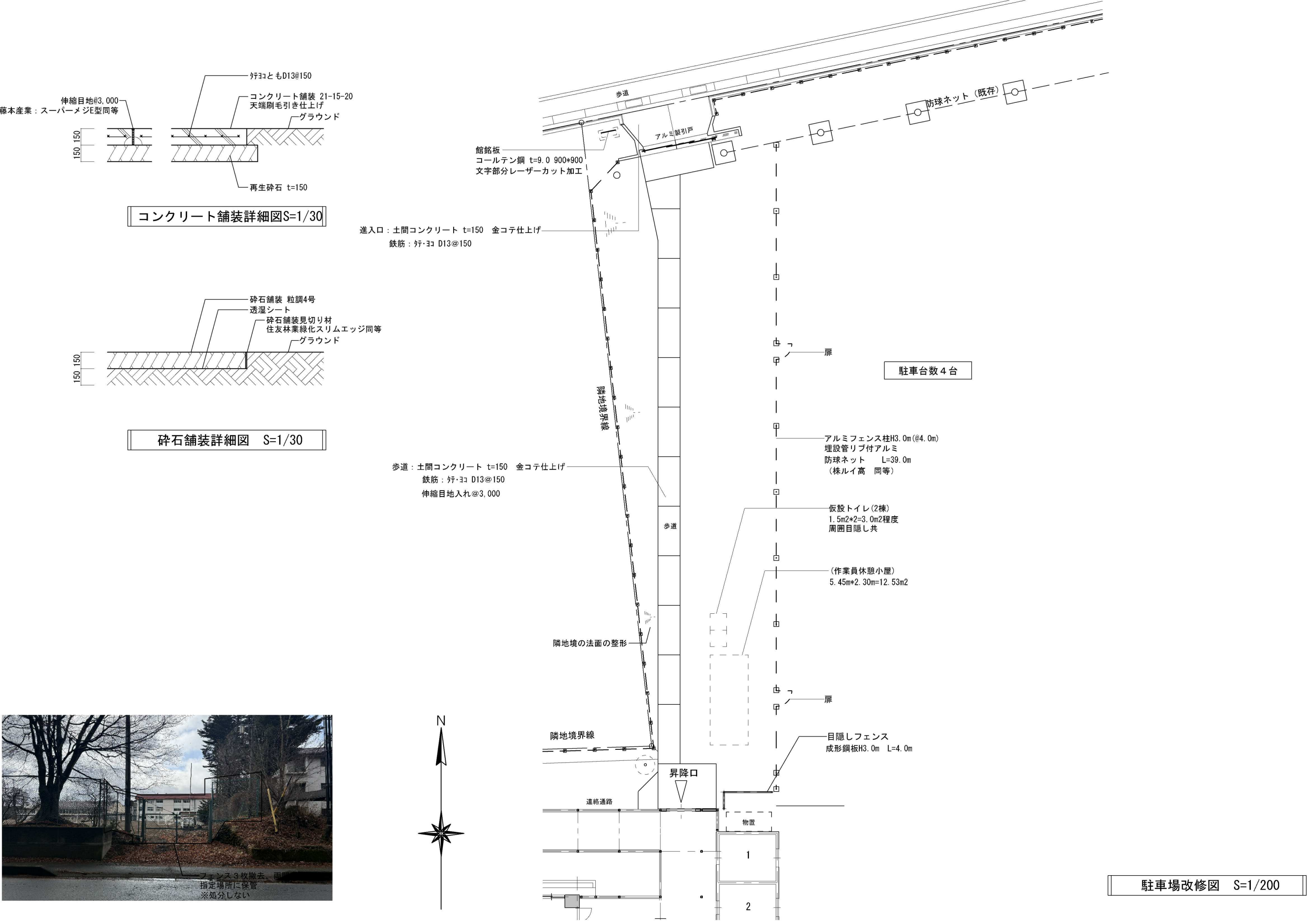
①別途工事・その他

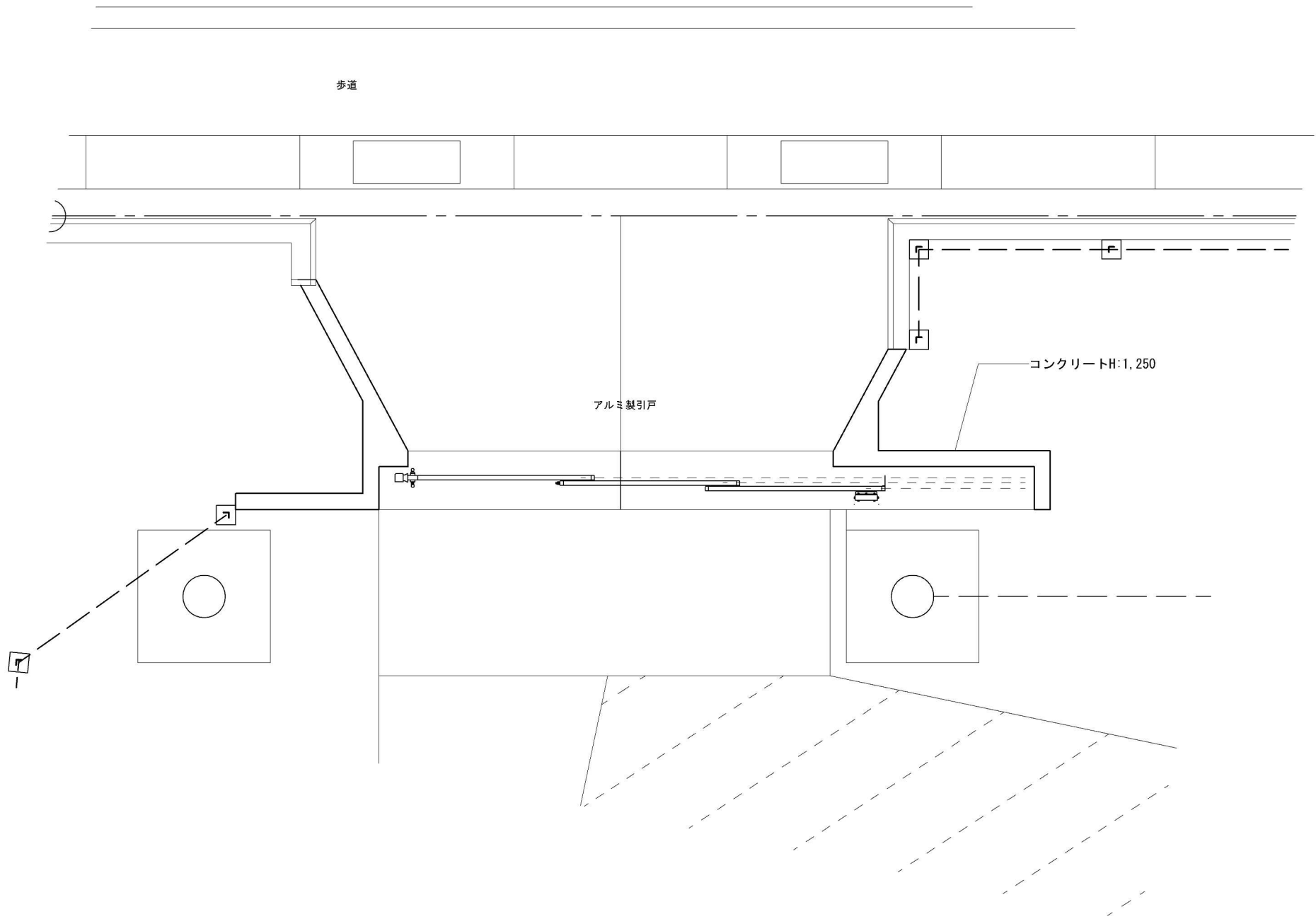
■以下項目は別途工事とする。
■厨房機器■食器類■事務机■椅子■スチール書庫■電話機■F A X
■会議机、椅子■音響設備の内の機器類■プロパンガス用発電機
■公共下水道受益者負担金関係
■給水加入金関係
■都市ガス加入金関係

官庁諸手続

①手続き

■道路自営工事手続き
■リサイクル法届出
□中間検査添付資料
■道路使用許可
□外部足場設置届

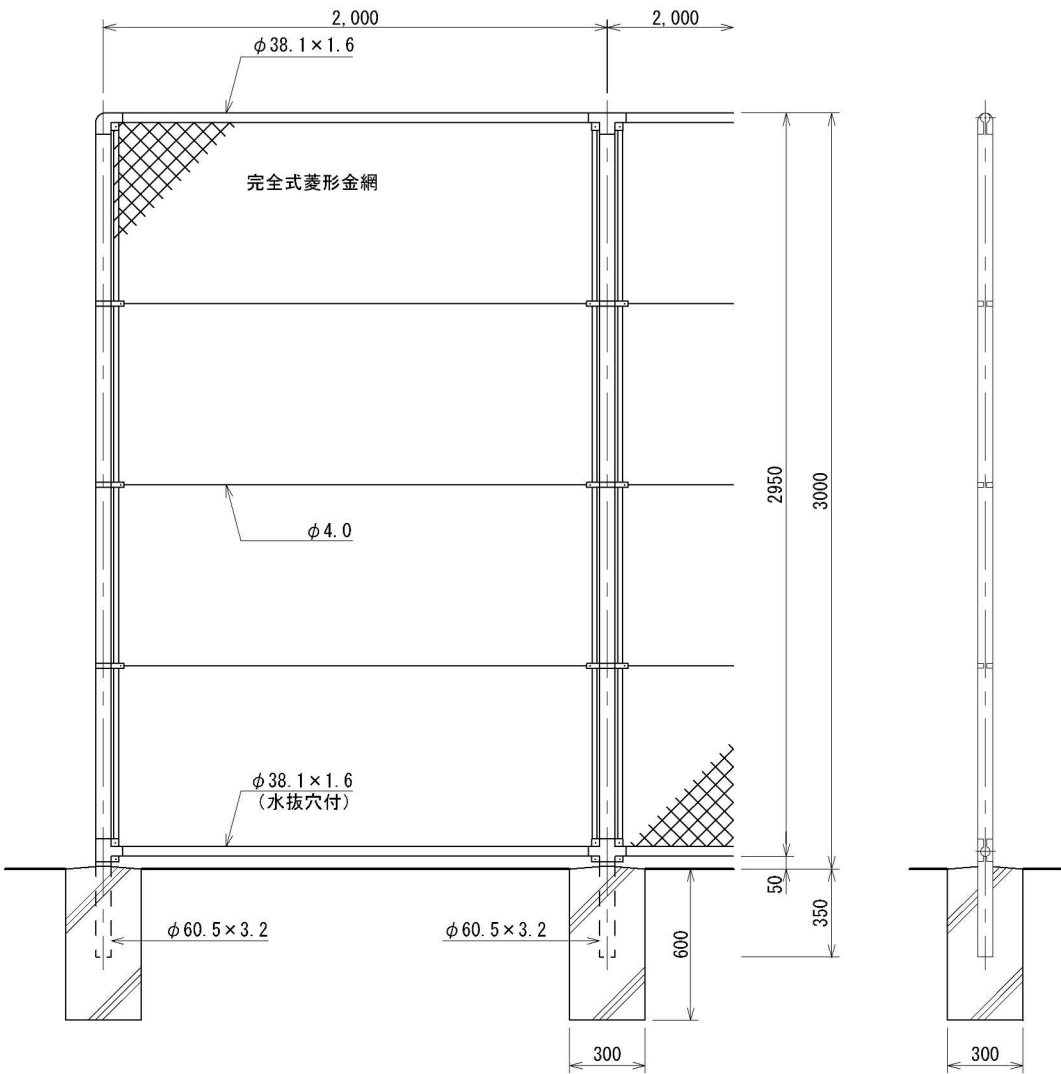




駐車場改修図 S=1/200

四国化成：スタックラインSR1M型コンパクトタイプ手動式 同等

S=1：20

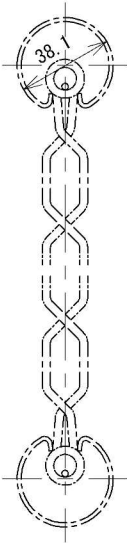


ネットフェンス参考図 朝日PC-A3000同等品 S=1/30

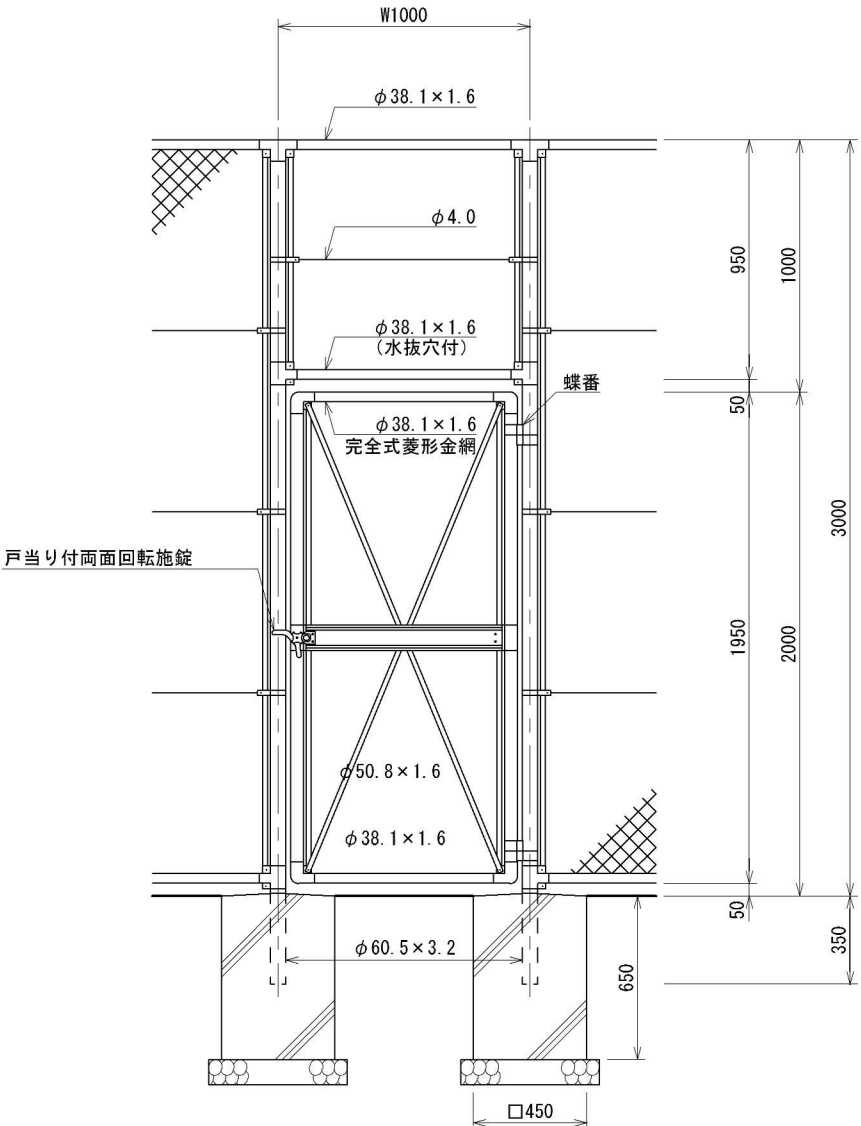
設計条件
設計荷重・・・昭和57年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力に依る。
基礎条件・・・長期許容地耐力 98kN/m² (10t/m²)

備考
外装は金網類を除く他は溶融亜鉛めっきとする。
本柵の金網規格は下記の通りとする。
φ2.6×40mm、φ2.6×56mm
φ3.2×50mm、φ3.2×56mm

胴縁に金網取付断面図 S=1/3



水抜穴
φ9.5c.t.c.300

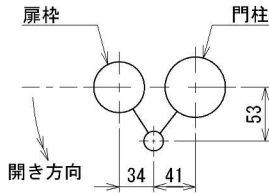


片開きくぐり門扉参考図 朝日PC-A3000同等品 S=1/30

設計条件
設計荷重・・・昭和57年改正の建築基準法・同施行令に基づく風圧力に依る。
基礎条件・・・長期許容地耐力 98kN/m² (10t/m²)

備考
1. 外装は金網類を除く他は溶融亜鉛めっきとする。
2. 本図門扉は片側180°開きとする。
① 注意
・施錠門柱の扉開き側に障害物（兼用フェンス、壁など）を有する場合には、両面回転施錠の戸当りが障害物と干渉するため、開き方向の変更が必要である。

門柱・扉枠位置関係図



駐車場改修図 S=1/200

軽井沢町

R.De.Co 軽井沢建築設計事務所

〒385-0022 長野県佐久市大字岩村田1291-1番地
TEL:0267-66-3580 FAX:0267-66-3581
一級建築士事務所登録 長野県知事登録 佐久E第72051号

DRAWN BY 一級建築士 大臣 第318665号 新津輝秋 印
DRAWN BY
CHECKED BY

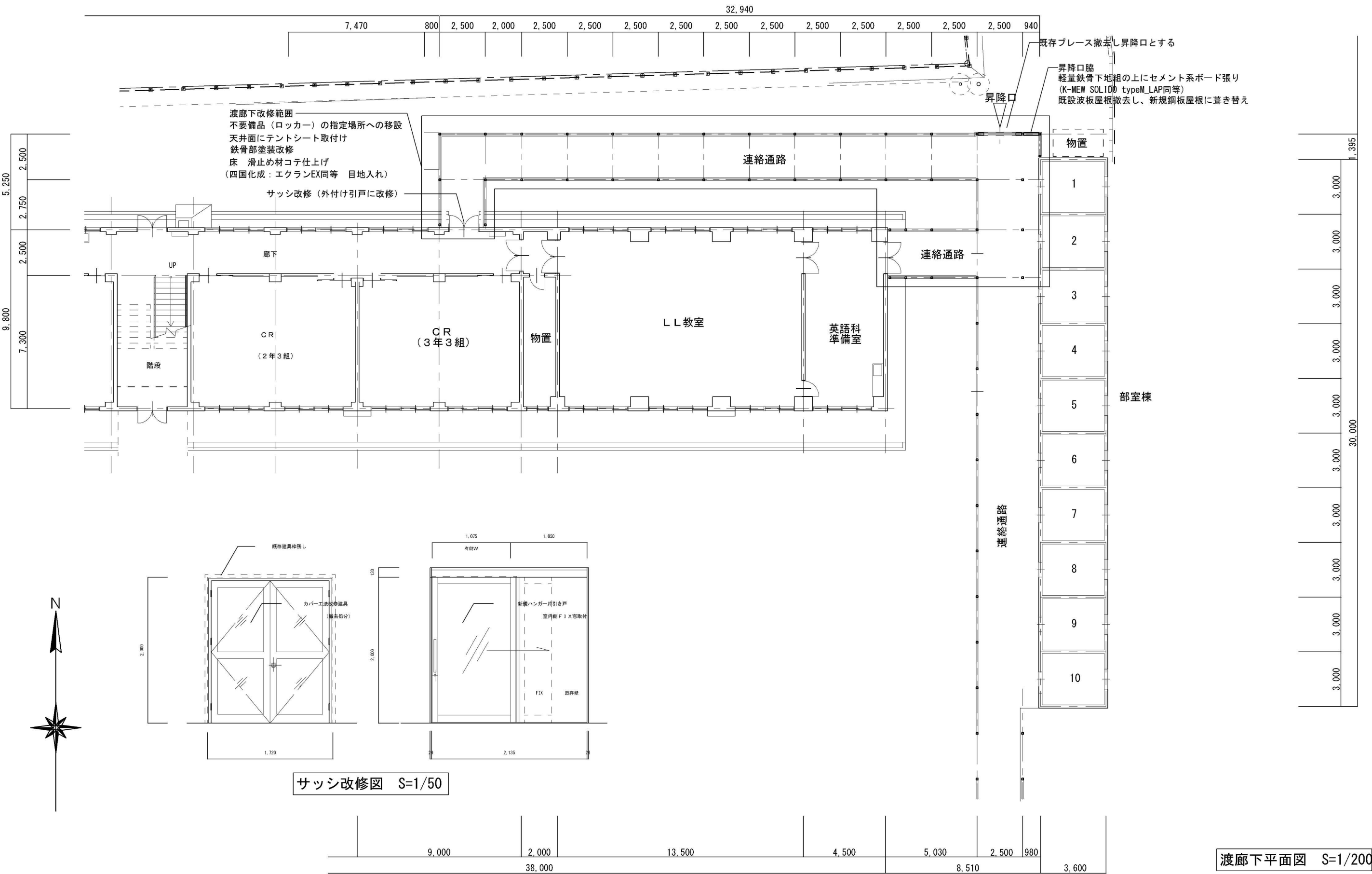
工事名称 令和8年度 国補 軽井沢オーブンドアスクール 改修工事
図面名称 グラウンド改修図

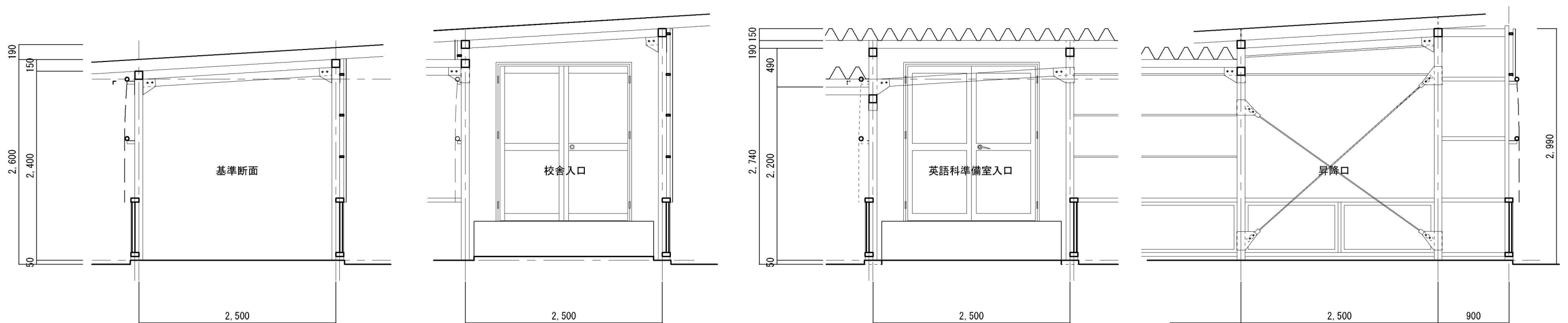
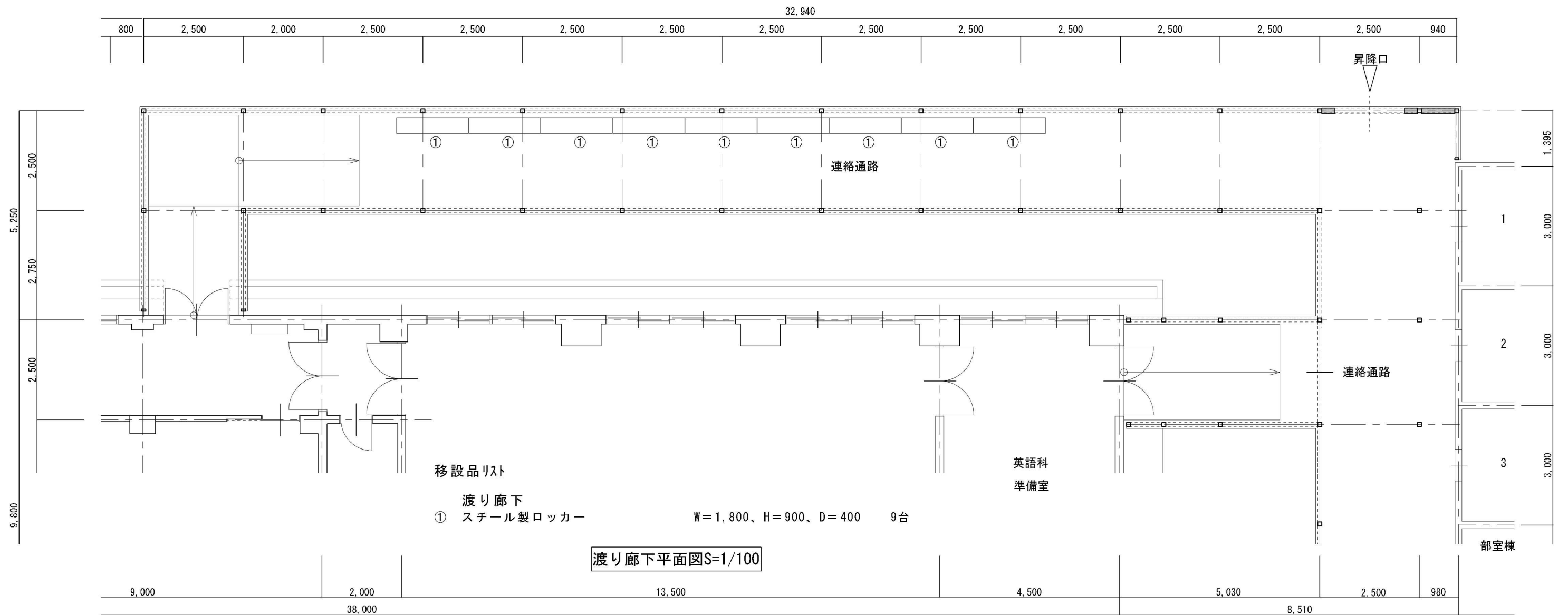
SCALE

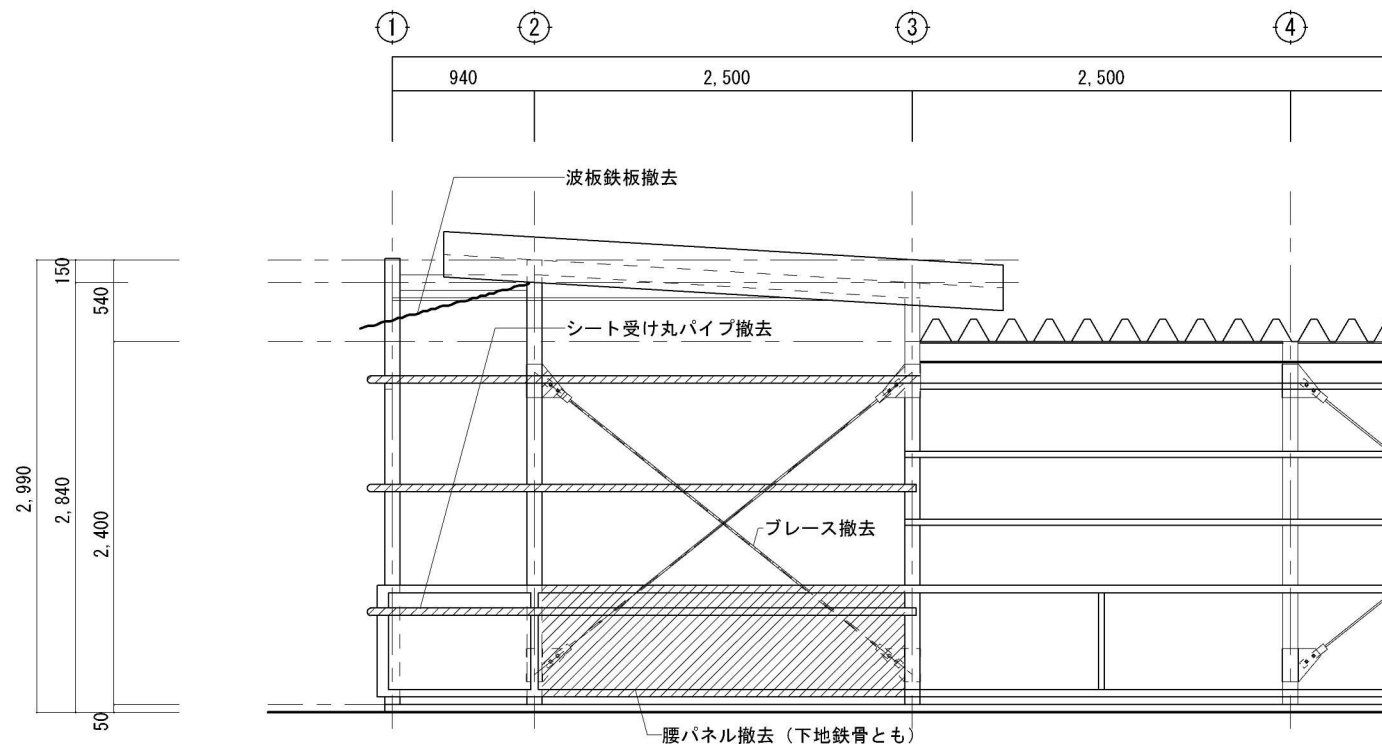
S=-

SHEET No.

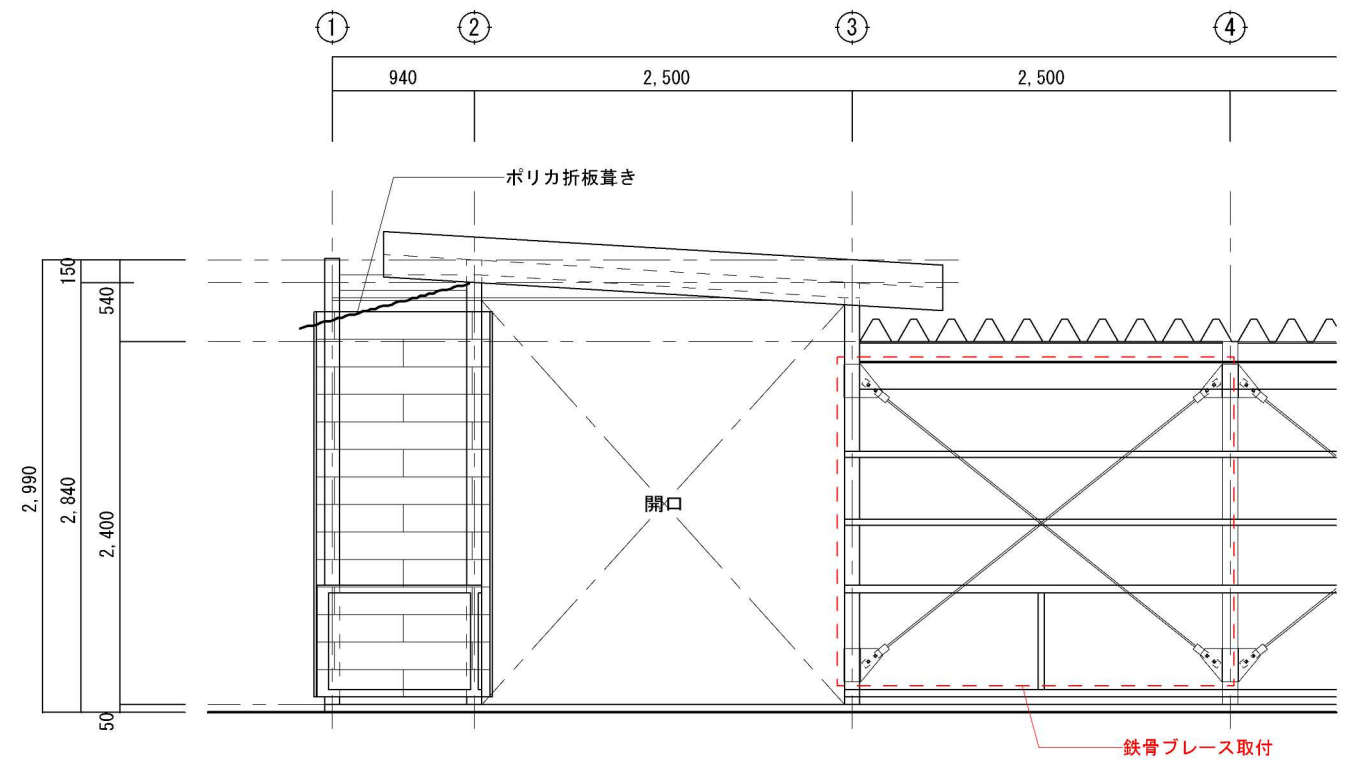
D-08



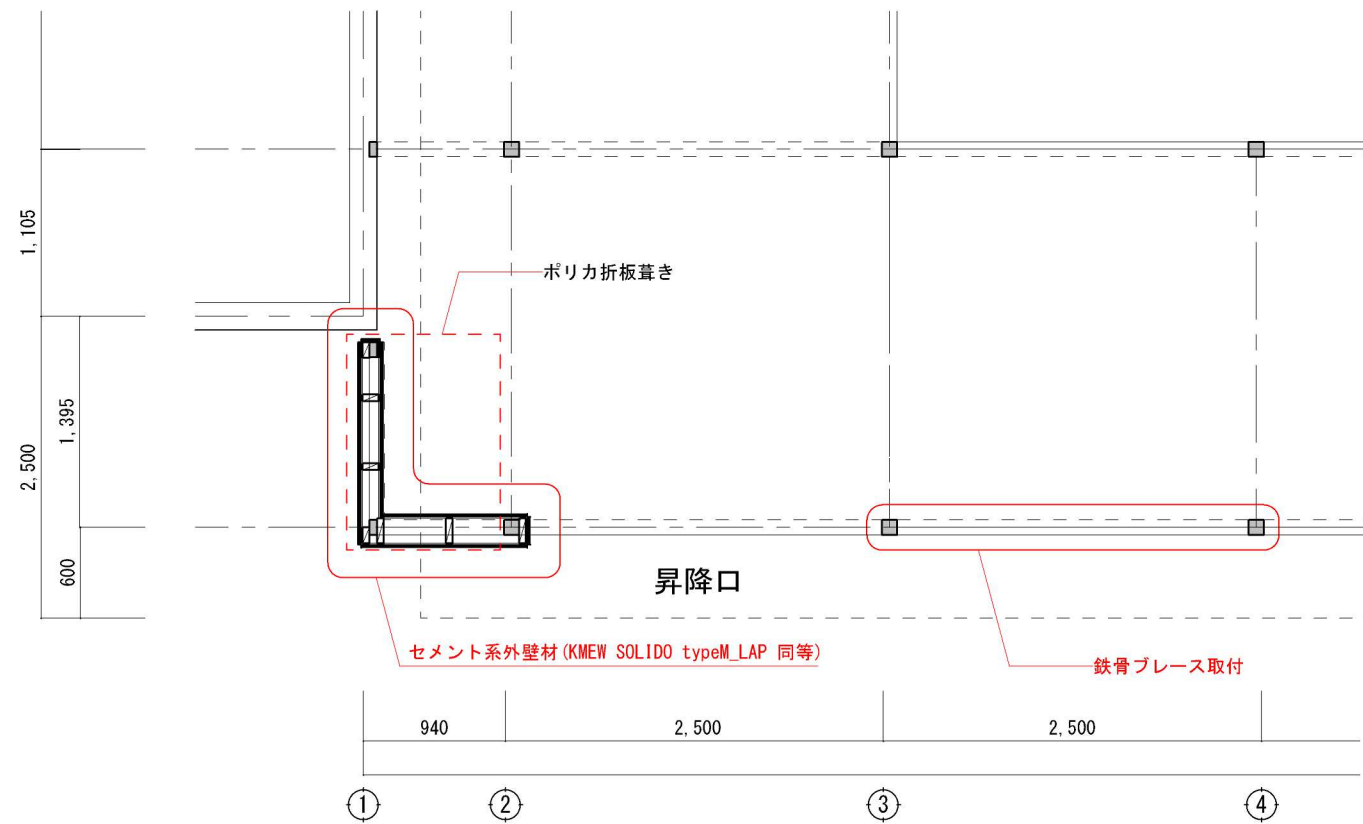




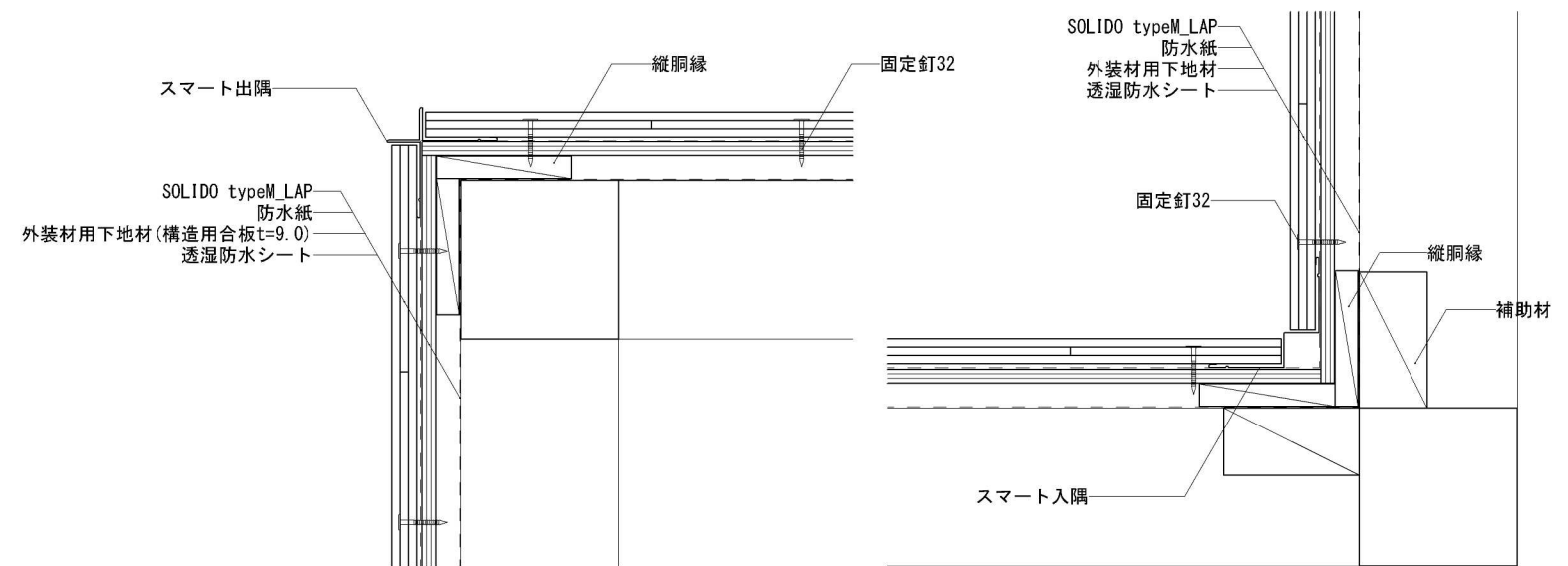
撤去範囲立面図 S=1/50



改修立面図 S=1/50

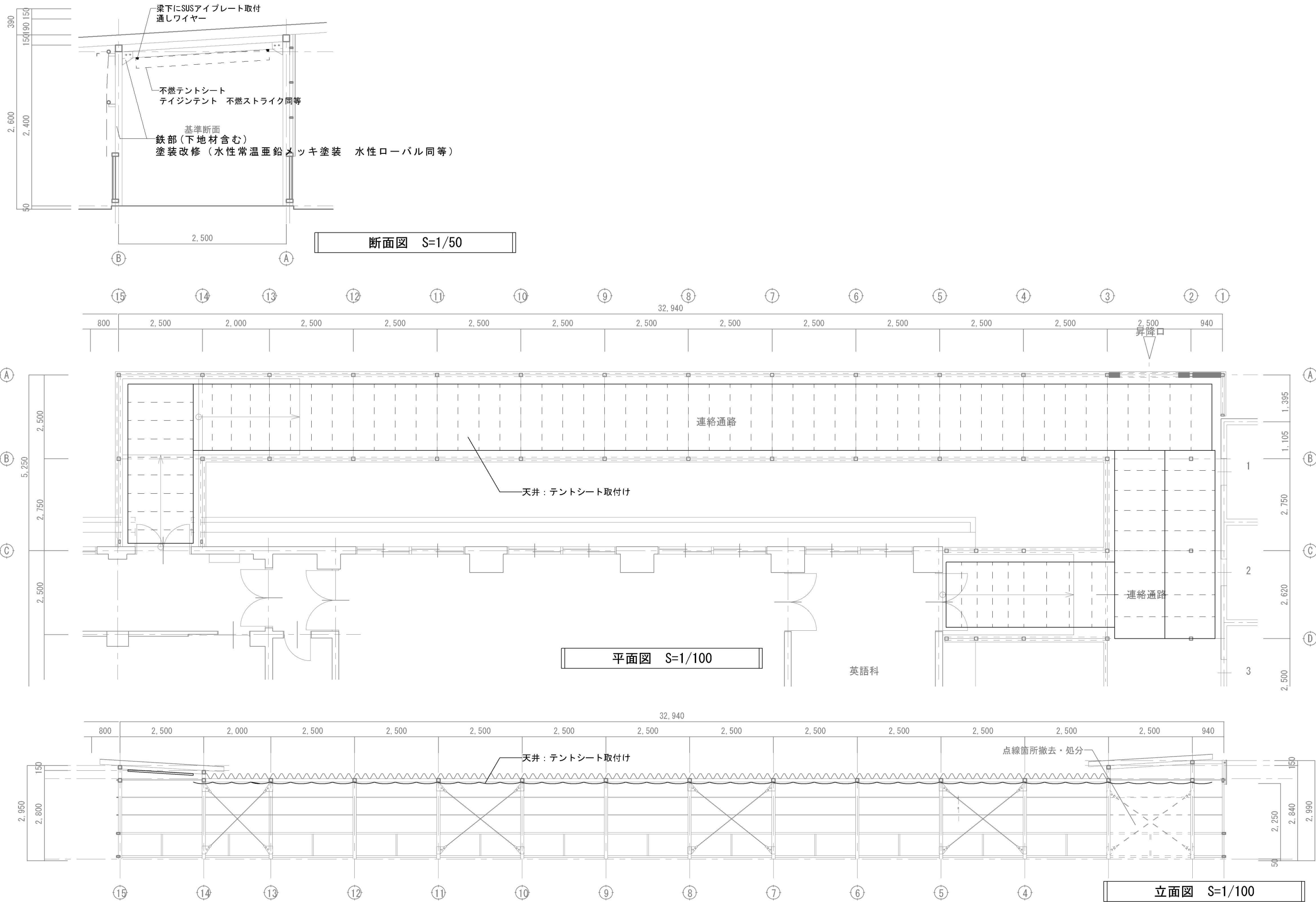


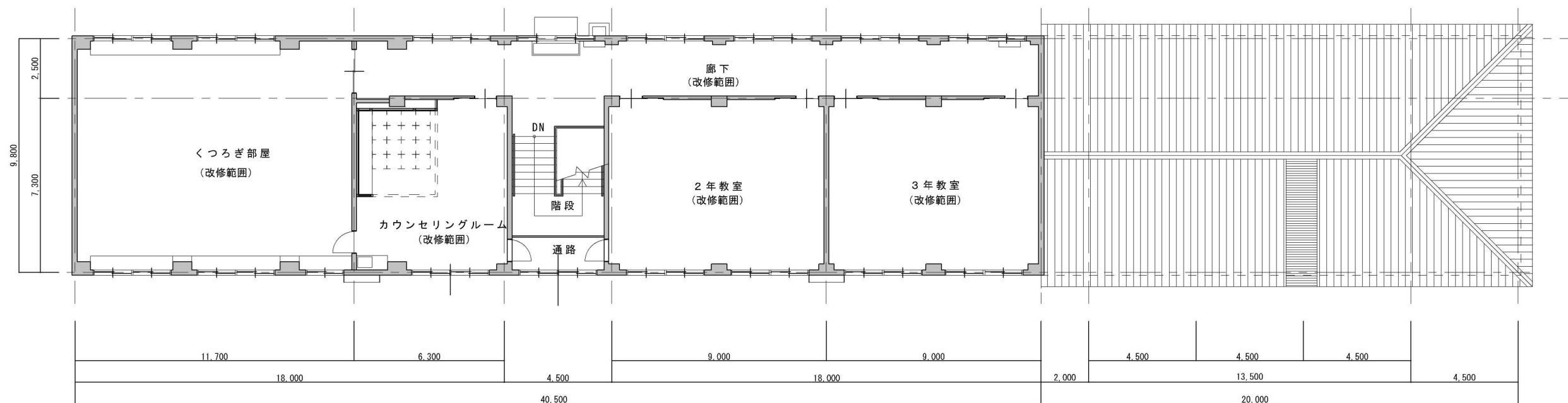
昇降口改修平面図 S=1/50



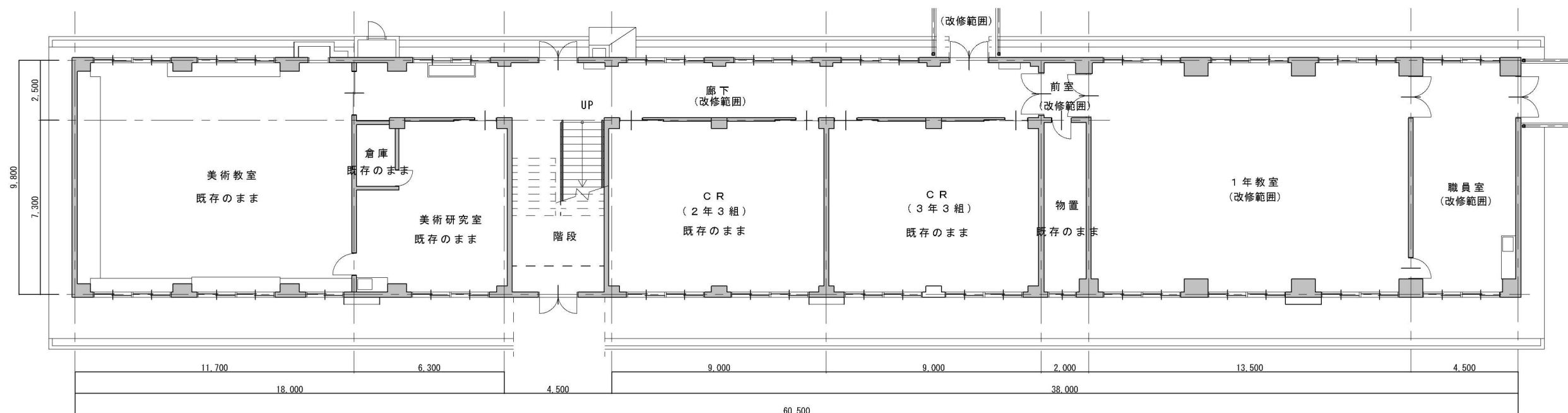
参考納まり図(出隅) S=1/5

参考納まり図(入隅) S=1/5

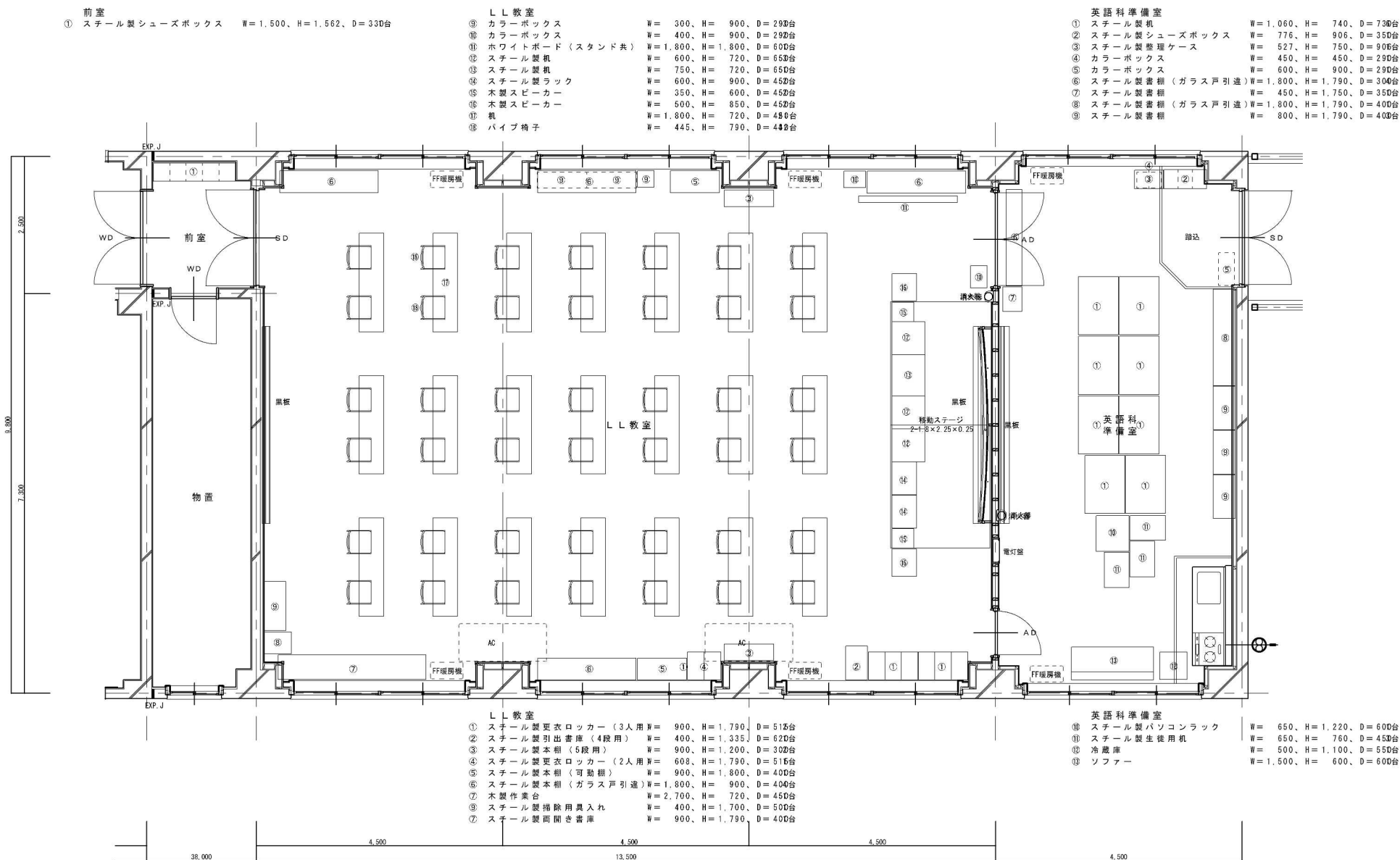




2階平面図S=1/200



1階平面図S=1/200

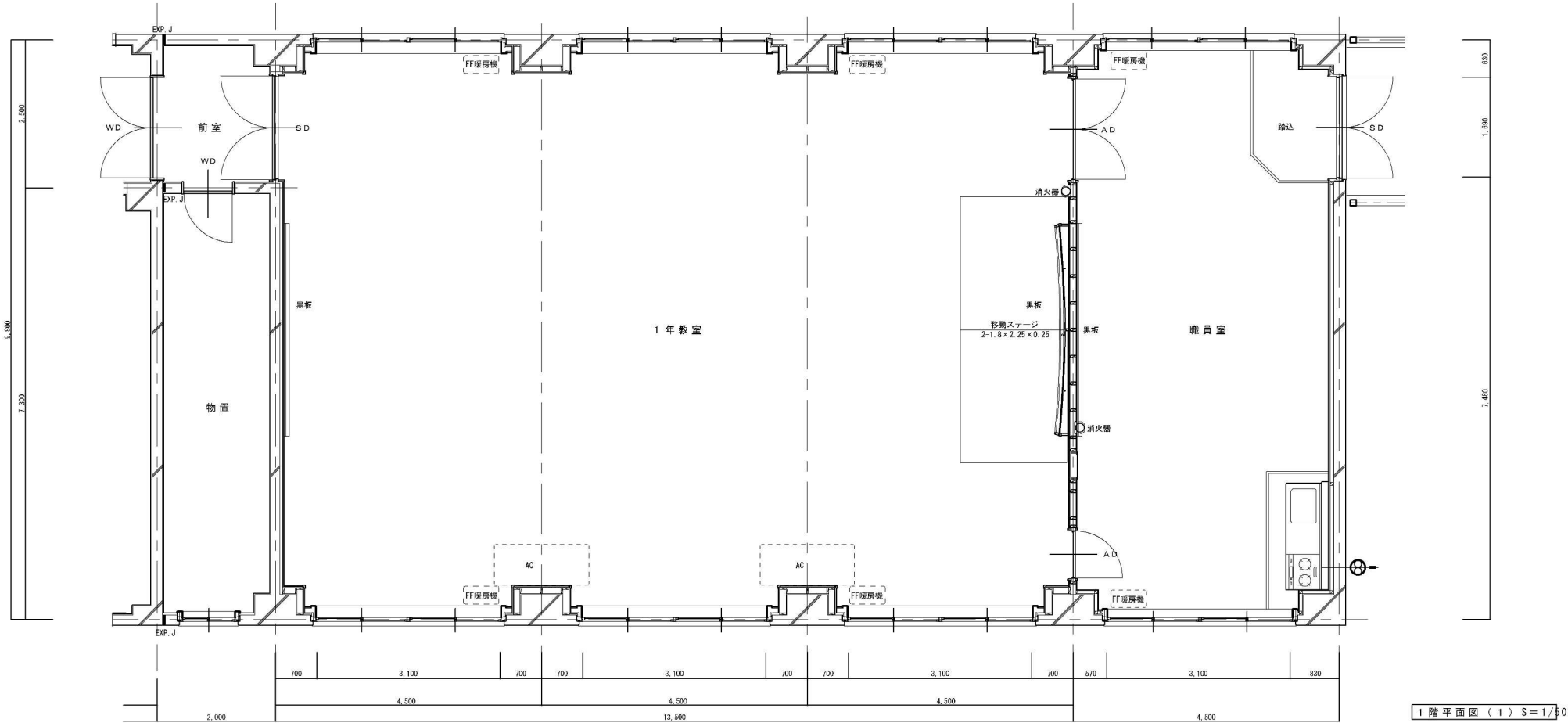


仕上表			
前室 C, H=2,920			
箇所	下地	仕上	仕上（改修）
床	モルタル塗り	長尺塩ビシート t=2.0 貼り	張替え
巾木	木製 H=100	OSGL	塗替え
木軸壁			
R・C壁	モルタル塗り	E.P.塗膜	塗替え
天井	LGS、PB t=9 張り	化粧石膏ボード t=9 貼り	塗装仕上（日本ペイント：シールマツⅡ）
廻縁	木製 H=100	OSGL	塗替え
備考			

仕上表			
物置 C, H=2,920			
箇所	下地	仕上	仕上（改修）
床	モルタル塗り	長尺塩ビシート t=2.0 貼り	張替え
巾木	木製 H=100	OSGL	塗替え
木軸壁			
R・C壁	モルタル塗り	E.P.塗膜	塗替え
天井	LGS、PB t=9 張り	化粧石膏ボード t=9 貼り	塗装仕上（日本ペイント：シールマツⅡ）
廻縁	木製 H=100	OSGL	塗替え
備考			

仕上表			
L.L.教室 C, H=2,920（舟底天井部 CH=3,070）			
箇所	下地	仕上	仕上（改修）
床	木床組フリースアクセスフロア、合板 t=18 張り	タイルカーペット t=6.5 貼り	タイルカーペット t=6.5 敷き込み 張替え
巾木	木製 H=100	OSGL	塗替え
木軸壁	銘木合板 t=12（一部有孔板）、特殊ロックウール板 t=14 張り	OSGL、一部ビニールクロス貼り	塗替え、一部ビニールクロス貼り 張替え
R・C壁	銘木合板 t=12（一部有孔板）、特殊ロックウール板 t=14 張り	OSGL、一部ビニールクロス貼り	塗替え、一部ビニールクロス貼り 張替え
天井	LGS、PB t=12 塗張り	ロックウール吸音板 t=9 貼り	塗装仕上（日本ペイント：シールマツⅡ）
廻縁	木製 H=100	OSGL	塗替え
備考	移動ステア（2-1,800×2,250×250）		

仕上表			
英語科準備室 C, H=2,920			
箇所	下地	仕上	仕上（改修）
床	バケットフロア t=15 張り	タイルカーペット t=6.5 貼り	
巾木	木製 H=100	OSGL	塗替え
木軸壁	石膏ボード t=12 張り	ビニールクロス貼り	ビニールクロス貼り 張替え
R・C壁	石膏ボード t=12 張り	ビニールクロス貼り	ビニールクロス貼り 張替え
天井	LGS、PB t=9 張り	化粧石膏ボード t=9 貼り	塗装仕上（日本ペイント：シールマツⅡ）
廻縁	木製 H=40	OSGL	塗替え
備考	移動ステア（2-1,800×2,250×250）		

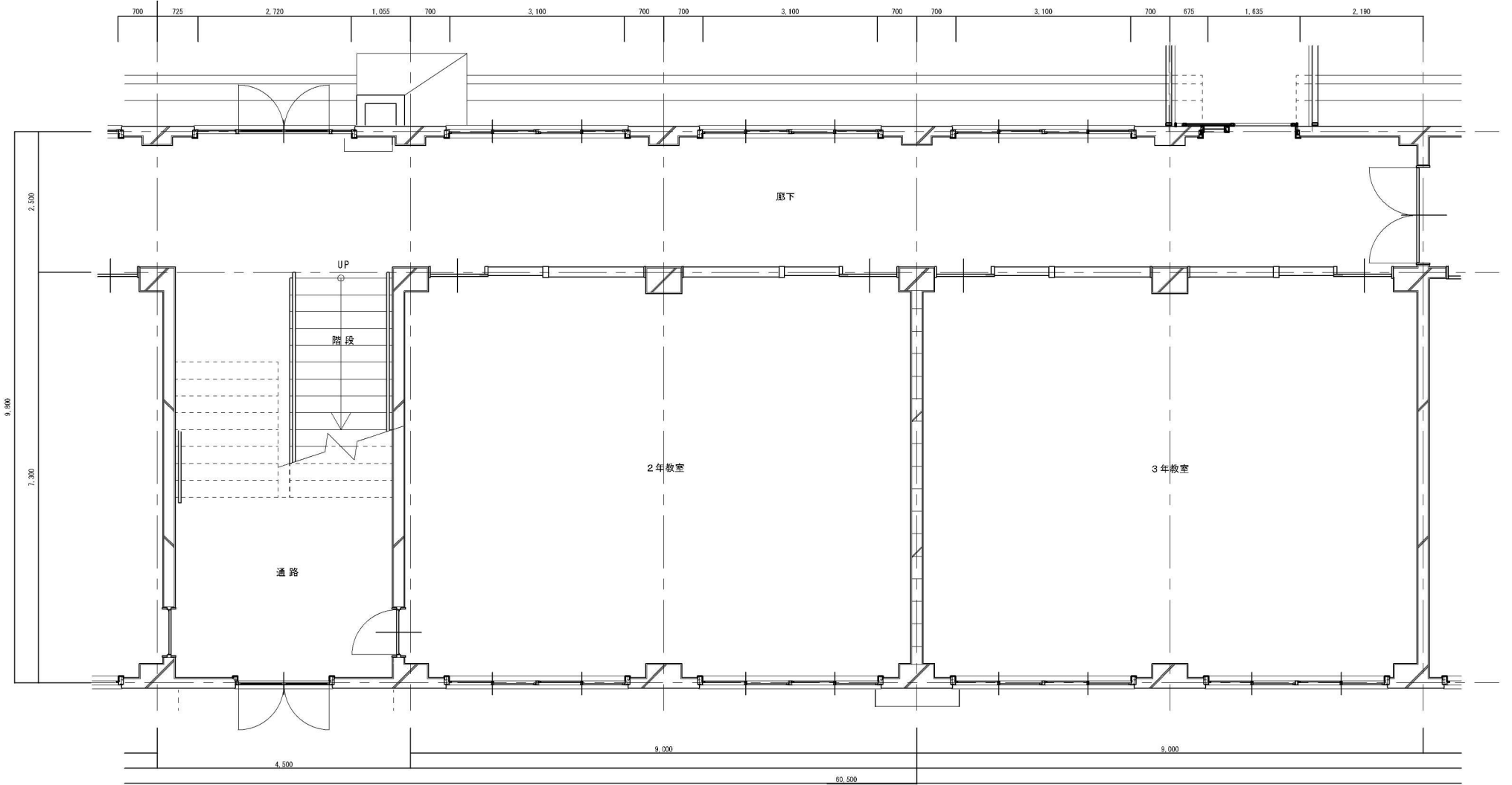


1 階平面図（1）S=1/50

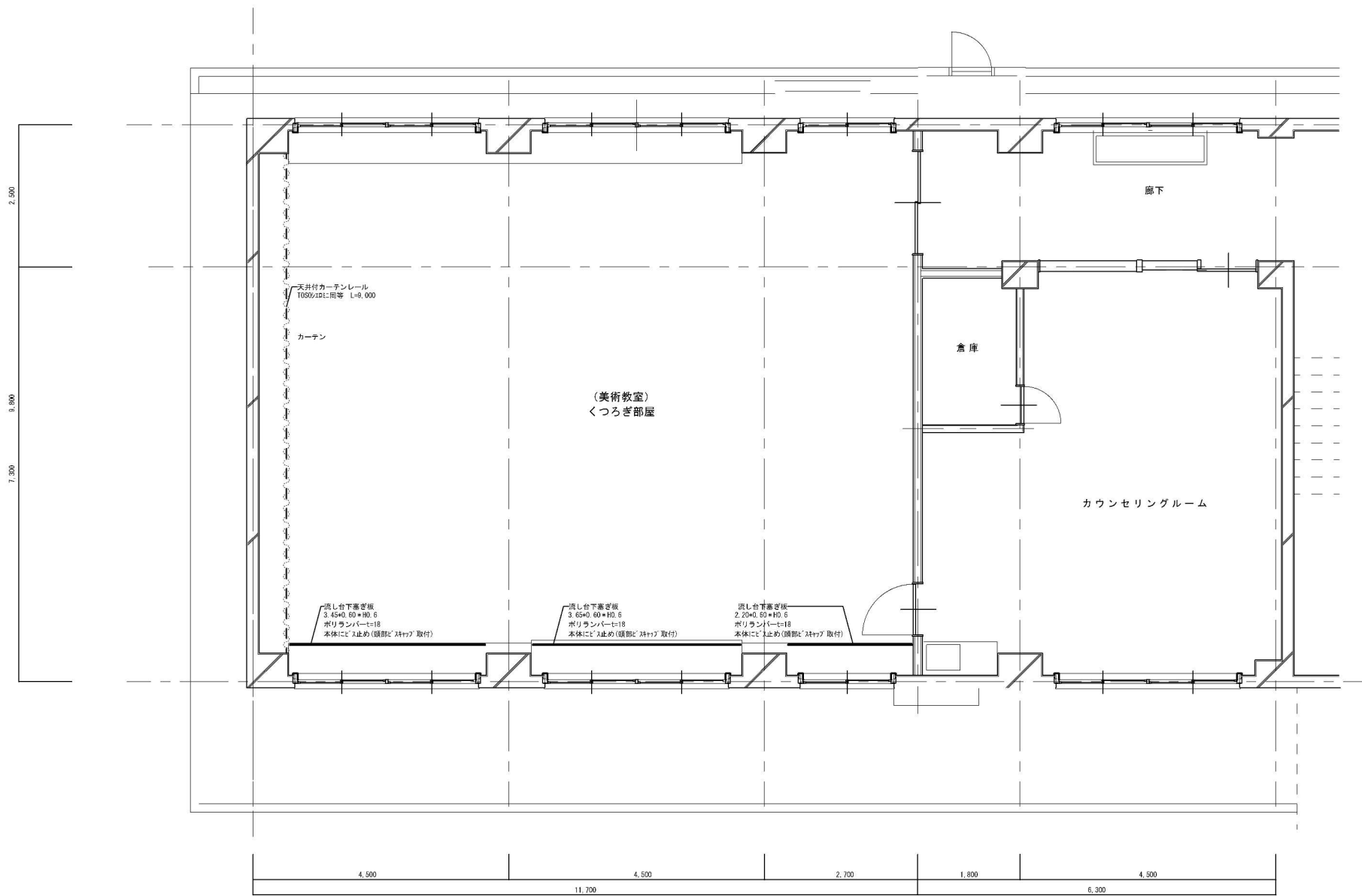
1/50
1/100

仕上表（現状）			
L L 教室			
箇所	下地	仕上	C.H
床	本床組フリーアクセスフロア、合板 t=18 張り	タイルカーペット t=6.5 敷き込み	3,075
巾木		木製 H=100、OSGL	3,075
木 軸 壁	純木合板 t=12(一部有孔板)、特殊ロックウール板 t=14 張り	OSGL、一部ビニールクロス貼り	3,075
R C 壁	純木合板 t=12(一部有孔板)、特殊ロックウール板 t=14 張り	OSGL、一部ビニールクロス貼り	3,075
天井	LGS、PB t=12 拵張り	ロックウール吸音板 t=9 貼り	3,075
廻縁		木製 H=40、OSGL	3,075
備 考	移動ステー (2-1,800×2,250×250)		

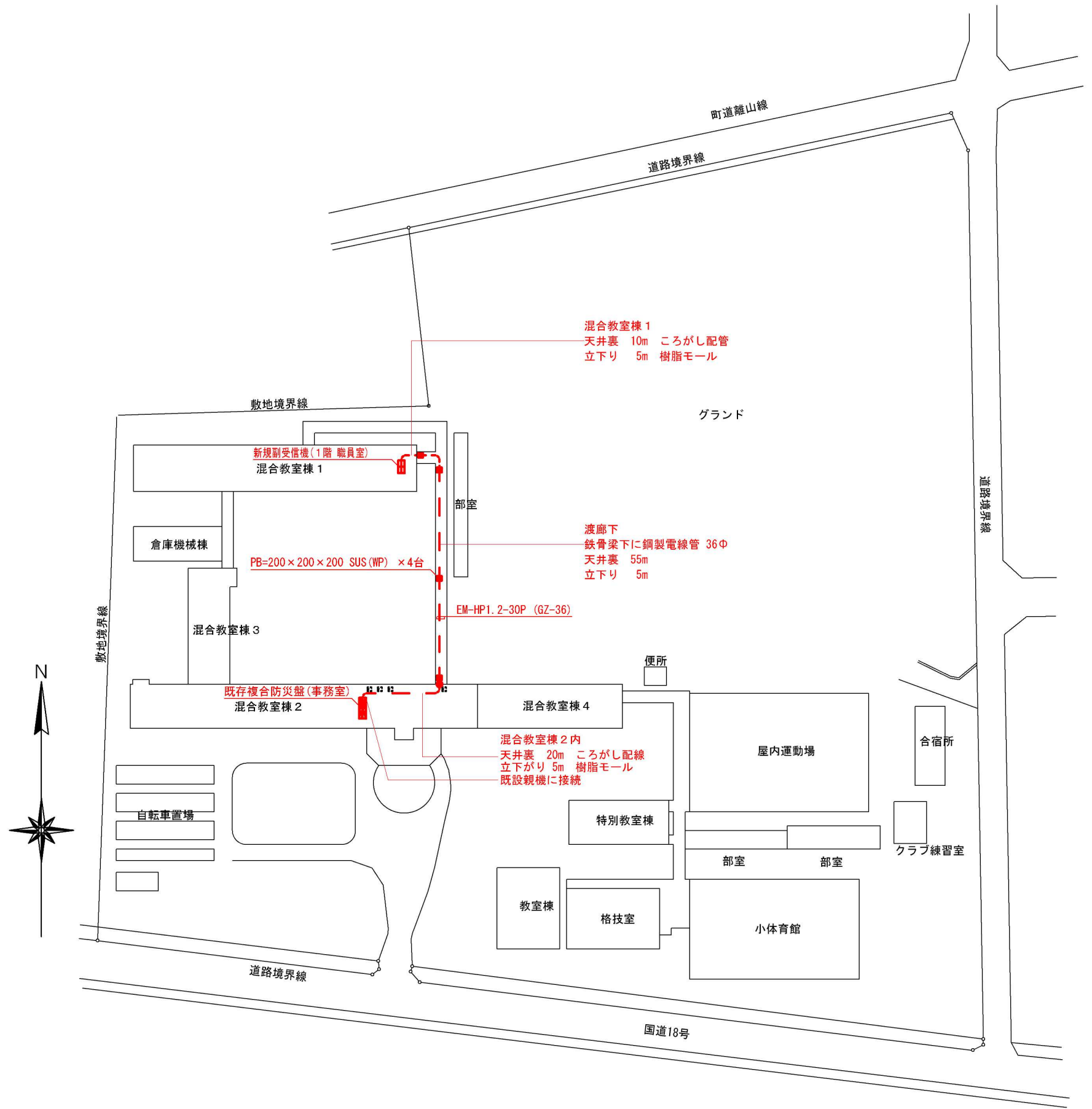
仕上表（改修）			
L L 教室			
箇所	下地	仕上	C.H
床	本床組フリーアクセスフロア、合板 t=18 張り	タイルカーペット t=6.5 拵替え	3,075
巾 木		木製 H=100、OSGL	3,075
木 軸 壁	純木合板 t=12(一部有孔板)、特殊ロックウール板 t=14 張り	OSGL、一部ビニールクロス拵り替え	3,075
R C 壁	純木合板 t=12(一部有孔板)、特殊ロックウール板 t=14 張り	OSGL、一部ビニールクロス拵り替え	3,075
天 井	LGS、PB t=12 拵張り	ロックウール吸音板 t=9 貼りの上、シールマット塗装	3,075
廻 縁		木製 H=40、OSGL	3,075
備 考	木製建具・鋼製建具両塗装拵替え及びシリランダー取替え		



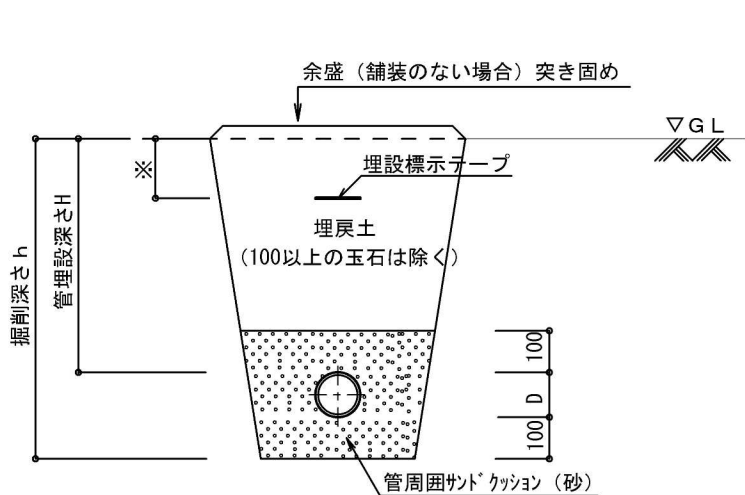
1/50
1/100



軽井沢町  R.De.Co 良建築設計事務所 Ryo Design Consultant	〒385-0022 長野県佐久市大字岩村田1291-1番地	DRAWN BY 一級建築士 大匠 第318665号 新津輝秋 印	工事名称 令和8年度 国補 軽井沢オーブンドアスクール 改修工事	SCALE S=1	SHEET No. E-01
	TEL:0267-66-3580 FAX:0267-66-3581	DRAWN BY			
	一級建築士事務所登録 長野県知事登録 佐久E第72051号	CHECKED BY			
			図面名称	電気設備工事特記仕様書	



全体配置図 S=1/1000

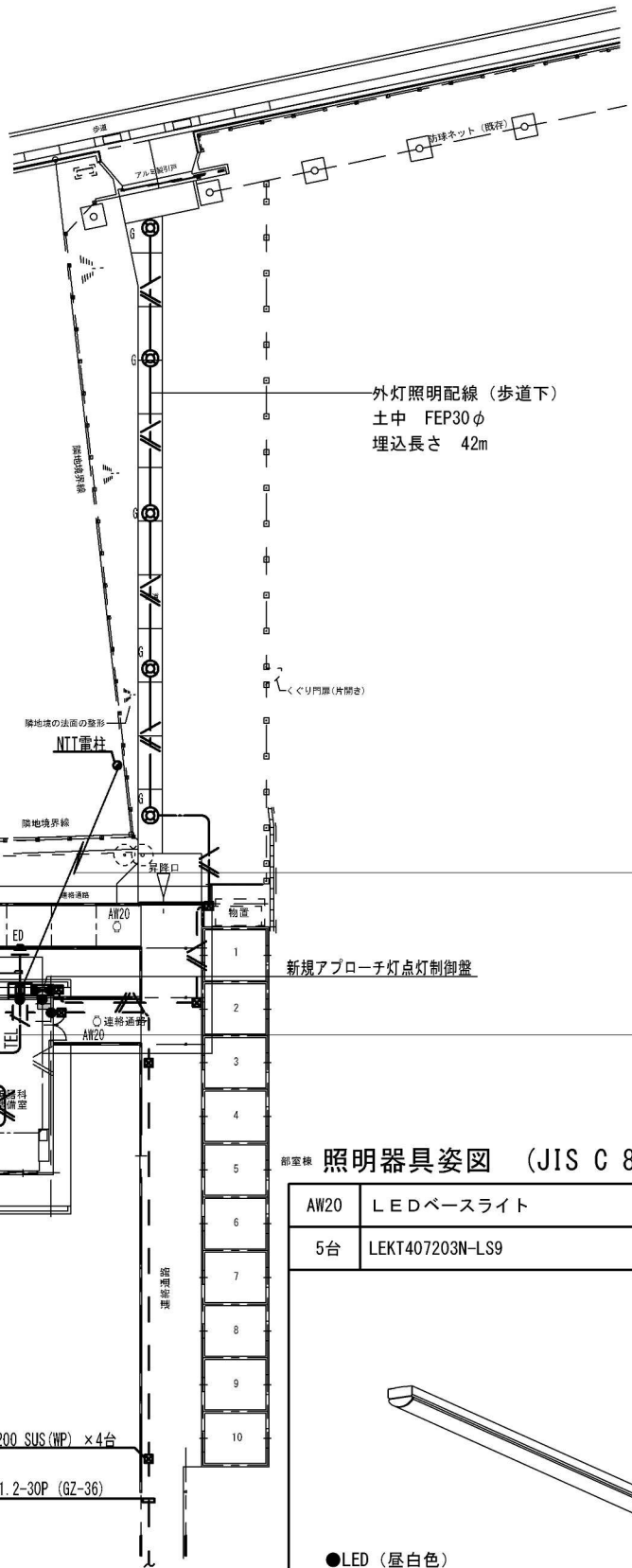


※ 埋設表示テープの設置高さは打合せにより決定する。(路盤工取合い)

土中埋設管の布設 (NoScale)

【凡 例】

記号	名 称	摘 要
	壁付電話用アウトレット	モ/ス/ジ/ヤリ 6燈4芯 新金属プレート共
	プルボックス	銅板製 (仕様は図面参照)、但し屋外はステンレス製
	新規LED灯 (外灯)	自立ポール式
	更新LED灯	吊直付型 → 既存撤去処分後更新
	接地工事	ED
	穴明け・補修工事	50φ
註) 特記なき配線は下記による。壁面立下げ、立上げ、屋外部は金属管にて保護のこと。		
電線・ケーブル (保護管)		
	EM-EF2.0-3C 内1線7-ス	(天井いんべい)
	EM-EF2.0-3C 内1線7-ス	(GZ-22)
	EM-CE3.5sq-3C 内1線7-ス	(FEP-30)
	EM-EBT0.4-2P	(メタルモール)
註) 配線部には、ケーブル埋設シート (2倍) を敷設する		



照明器具姿図 (JIS C 8105-3 : 2011 規格による)

AW20	LEDベースライト	A11	LEDガーデンライト+ロングポール
5台	LEKT407203N-LS9	3台	LEDG-67301+LPD-100GX
●LED (昼白色) ●寸法: 幅70×1,223×高53 ●本体: 銅板 白 ●LEDバー: ポリカーボネート 乳白 ●定格電圧: AC100V~242V ●消費電力: 13.6W (AC200V時) ●器具光束: 2,000lm 固有エルク-消費効率: 147.0lm/W ●寿命: 40,000時間 (光束維持率90%) ●相関色温度: 5000K 平均演色評価数 (Ra) : 83 ●非調光 ●質量: 1.5kg ◆LEDベースライトTEN000シリーズ 直付形 幅70		●LED 5.5W 2700K 巾φ85 高演色LED 防雨型 OG254009R同等	

既存電灯分電盤 → 電子式電力量計盤隣接設置 (既存主ブレーカ1次配線接続替え配線) (電灯計量区分の為)

新規電灯分電盤 → GHP電源用 (既存電灯分電盤2次より配線共)

既存空調動力盤 → 電子式電力量計盤内組込改造 (動力計量区分の為)



- | | |
|------------|-------------------------------|
| 既存空調動力盤 | 電子式電力量計盤内組込改造 (動力計量区分の為) |
| 既存電灯分電盤 | 銅板製 |
| 新規電灯分電盤 | GHP電源用 (既存電灯分電盤2次より配線共) |
| 新規制御盤 | アプローチ灯点灯用 (銅板製屋外防水形) → (別図参照) |
| 新規電子式電力量計盤 | (電灯計量区分の為) |
| 新規副受信機 | P型 1級 50回線 (壁掛形) → (別図参照) |
| 新規保安装置 | 電話単独引込用 (銅板製屋外防水形) |

配置図 S=1/400

軽井沢町

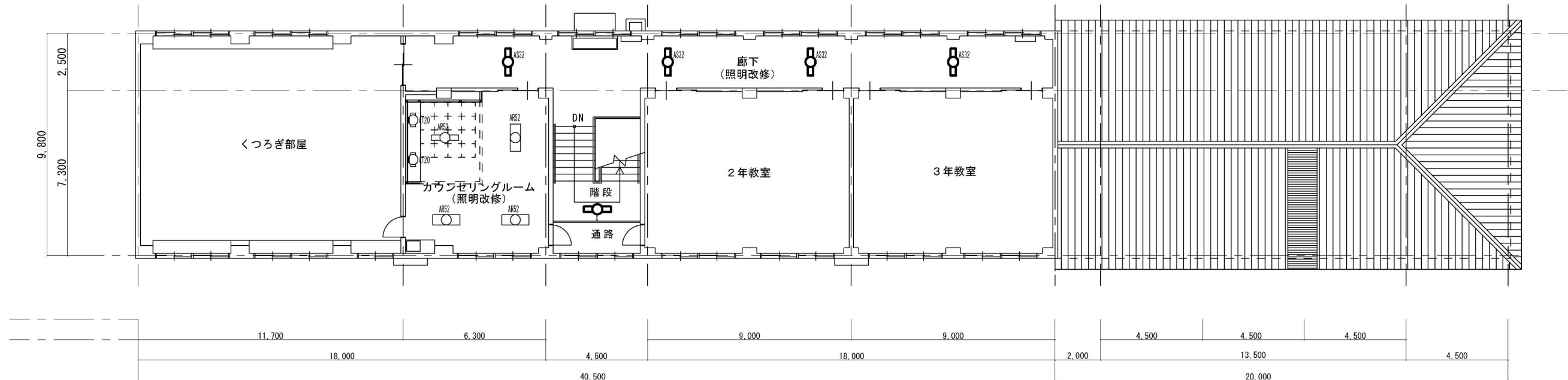
R.De.Co 豊良建築設計事務所

〒385-0022 長野県佐久市大字岩村田1291-1番地
TEL:0267-66-3580 FAX:0267-66-3581
一級建築士事務所登録 長野県知事登録 佐久E第72051号

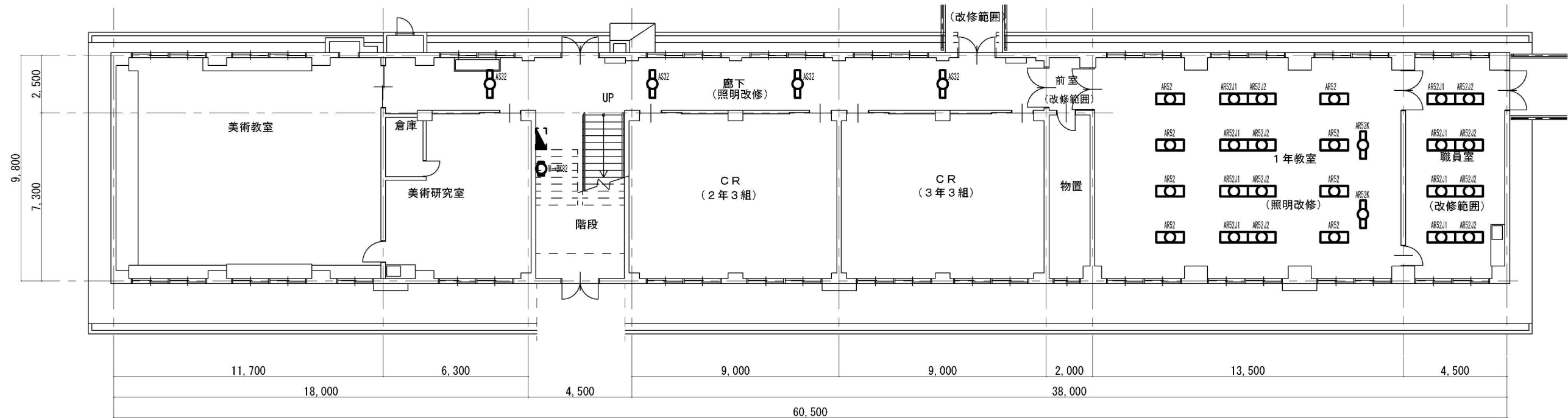
DRAWN BY	一級建築士 大臣 第318665号 新津輝秋 印
DRAWN BY	
CHECKED BY	

工事名称	令和8年度 国補 軽井沢オーブンドアスクール 改修工事
図面名称	配置図

SCALE	S=1/400
SHEET No.	E-03



2 階平面図 S=1/200



1 階平面図 S=1/200

【凡 例】

記号	名 称	備 考
	既存電灯分電盤	銅板製
	更新LED灯	天井埋込 天井直付
	更新LED灯	天井埋込 天井直付
	更新LED灯	天井直付
	更新LED灯	壁付 位置ボックス有

【設計項目区分表(照明器具)】

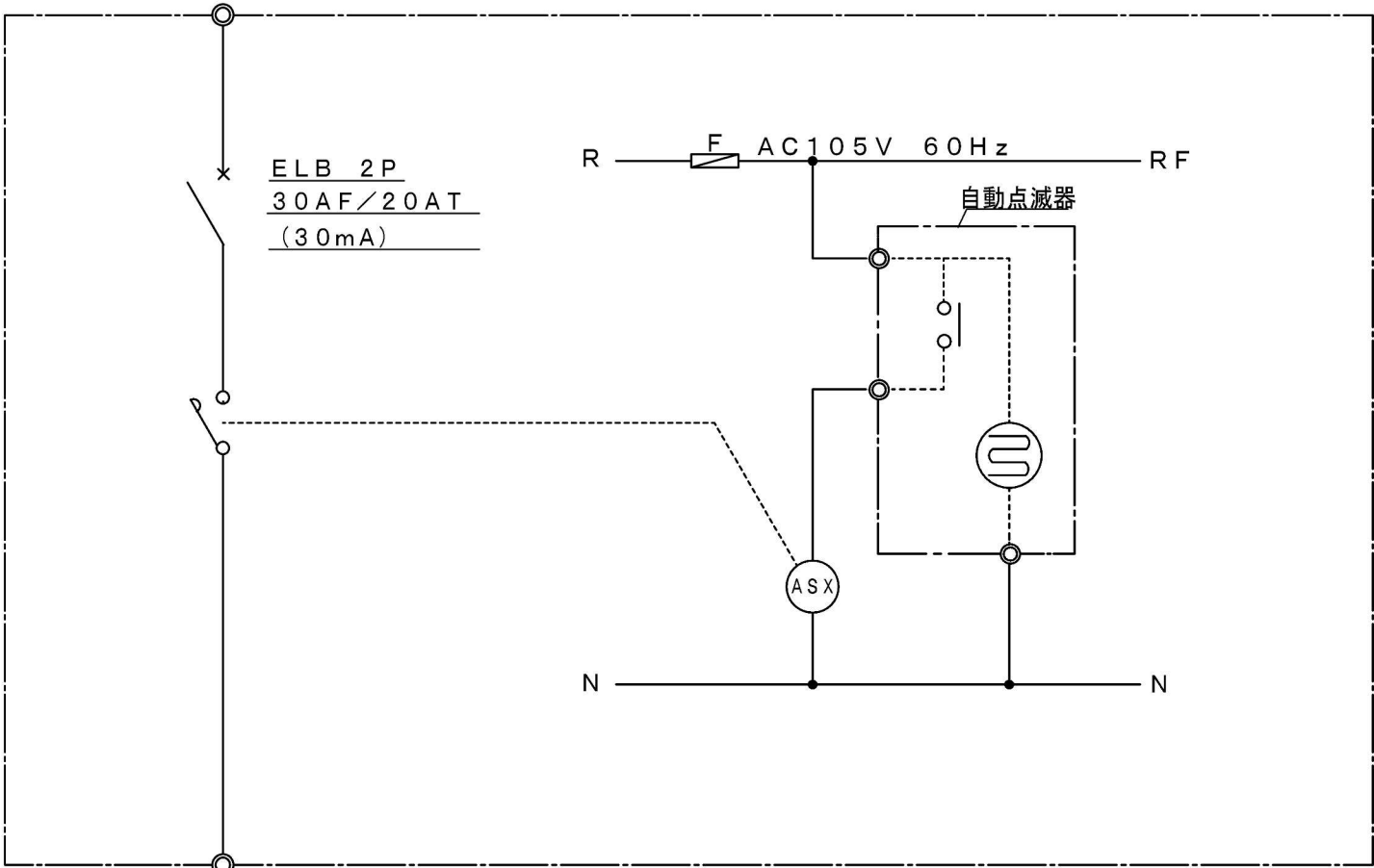
記号	設計項目	範 囲
	【1】 照明器具設備工事	1 年教室、職員室
	【2】 照明器具設備工事	構内通学路
	【3】 照明器具設備工事	渡り廊下
	【4】 照明器具設備工事	上記以外

アプローチ灯制御盤

銅板製（屋外露出型）

電灯（英語準備室電灯分電盤より）

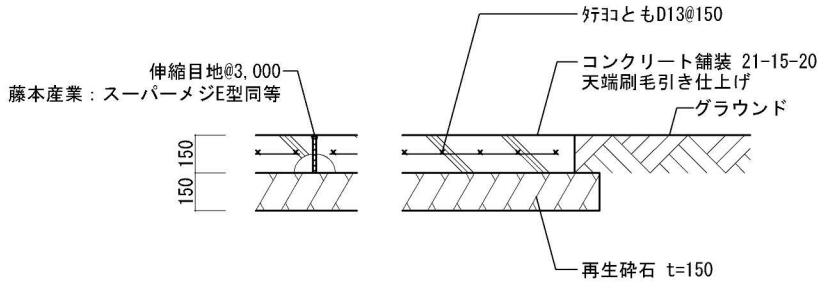
1 Ø 2W AC105V 60Hz



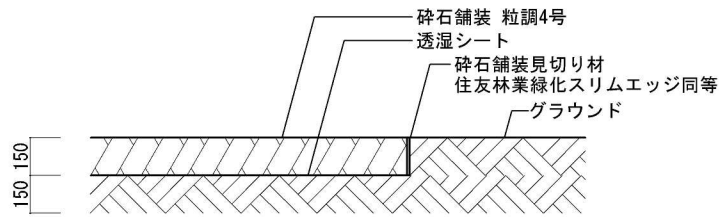
P 型 1級 副受信機 50回線

入力電圧	D C 2 4 V
最大消費電流	1 7 3 m A
音量	7 0 d B 以上（断続音）
使用周囲温度	- 1 0 ° C ~ + 5 0 ° C
質量	8 K g

パナソニック相当品：B Z E 4



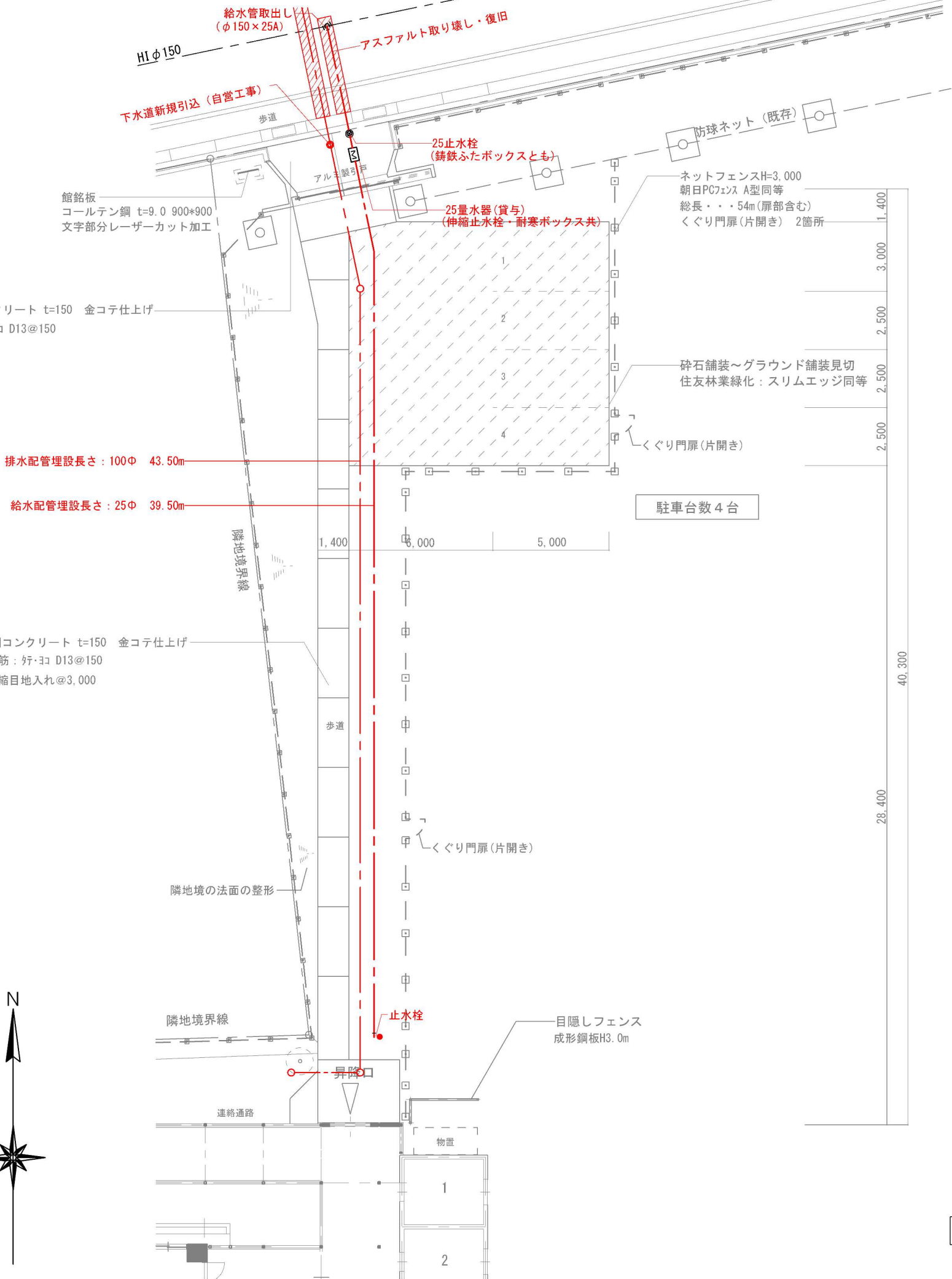
コンクリート舗装詳細図S=1/30



碎石舗装詳細図 S=1/30

進入口：土間コンクリート t=150 金コテ仕上げ
鉄筋：好コとも D13@150

歩道：土間コンクリート t=150 金コテ仕上げ
鉄筋：好コとも D13@150
伸縮目地入れ@3,000



駐車場改修図 S=1/200